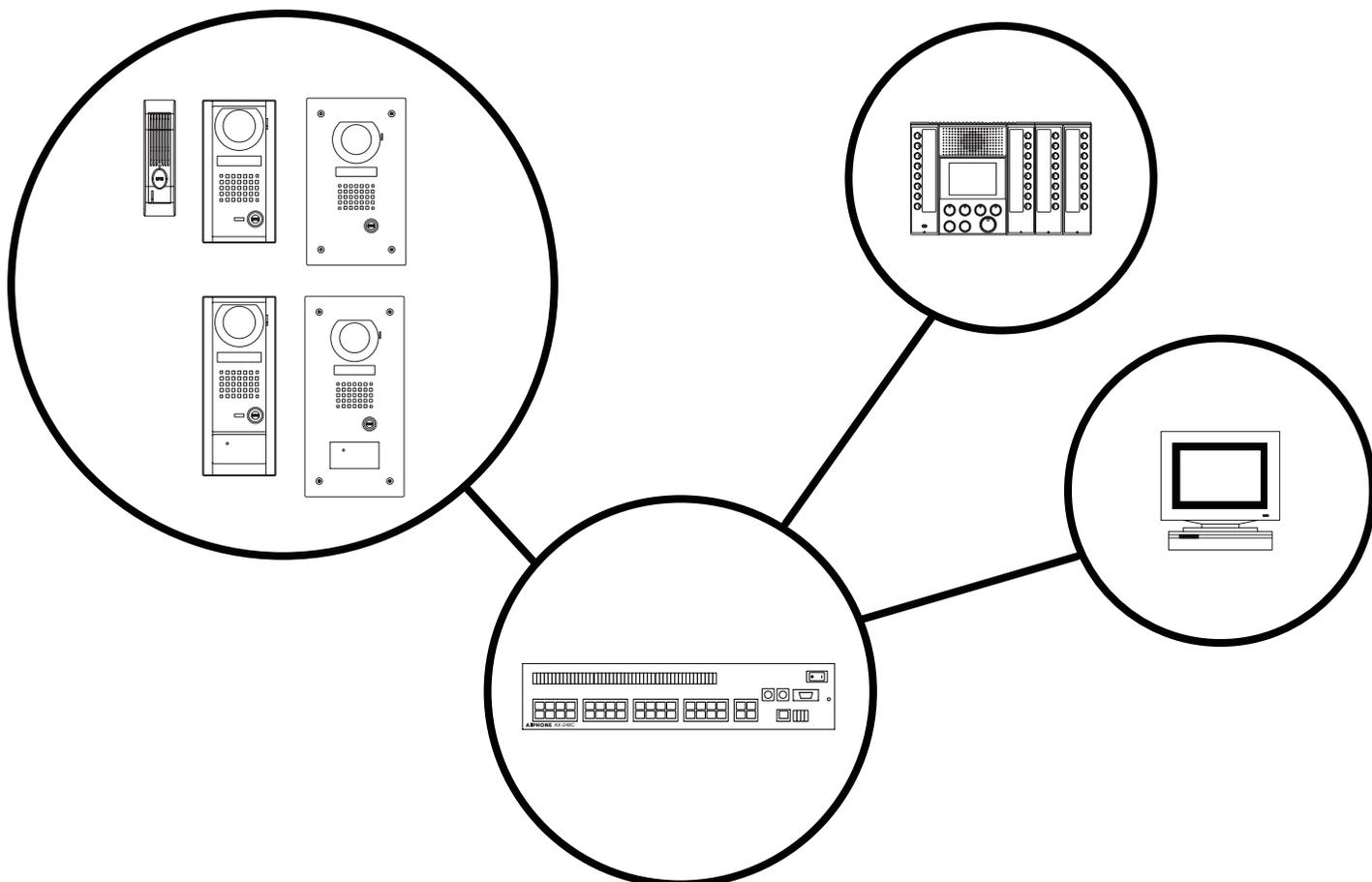




# AX SERIES

インテグレートド・セキュリティ&コミュニケーション・システム



## 注意事項

- ⊘ 一般的禁止事項
- ⊘ 機器分解の禁止
- ⊘ 機器に水をかけることの禁止
- ⚠ 一般的注意事項

### ⚠警告

(警告に従わないと死亡事故または人身事故の原因になることがあります)

- ⊘ 1. 機器内部には電圧（高電圧）がかかっている部分があります。本体をあけないでください。感電の原因となります。
- ⊘ 2. 機器を分解・改造しないでください。火災、感電の原因となります。
- ⊘ 3. 十、一端子に定格以外の電源電圧を接続しないでください。また2台の電源を1つの入力にバラ接続しないでください。火災、機器損傷やシステム誤動作をもたらします。
- ⊘ 4. 機器を水や液状のものから遠ざけてください。火災、感電の原因となります。
- ⊘ 5. 開口部から内部に金属類や紙類を差し込んだり落としたりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ⊘ 6. ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ⚠ 7. 電源プラグの部分にほこりがたまるようにしてください。火災の原因となります。
- ⊘ 8. 電源コードを傷つけたり重いものをのせしないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。
- ⊘ 9. 電源アダプターは表記された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ⚠ 10. 電源プラグは根元まで差し込んでください。差し込みが不完全だと火災、感電の原因となります。
- ⊘ 11. 機器は防爆仕様ではありません。酸素室など引火しやすいガスの充満する場所での設置および使用はしないでください。火災、爆発の原因となります。

### ⚠注意

(注意に従わないと、人身事故または器物を損傷することがあります)

- ⚠ 1. 電源を入れる前に、誤配線、ショートなどが無いことを確認してください。火災、感電の原因となる場合があります。
- ⊘ 2. 機器本体を壁に取り付ける場合は、肩などの身体が容易に触れない場所を選んでください。けがの原因となる場合があります。
- ⊘ 3. 電源を入れた状態で配線、取付、結線をしてしないでください。感電、故障の原因となる場合があります。
- ⊘ 4. 次の場所での設置および使用は避けてください。火災、感電、故障の原因となる場合があります。
  - \* 直射日光の当たる場所、暖房機器、ボイラーなどの近くで温度が上昇するところ
  - \* 鉄粉、ほこり、油、薬品、硫化水素（温泉地）などのかかるおそれのあるところ
  - \* 浴室、地下室、温室などの湿度の高いところ
  - \* 冷凍倉庫内、クーラーの正面などの温度が低いところ
  - \* 熱器具や調理台のそばなど直接湯気や油煙のあたる場所
  - \* 調光器、インバータの電気製品などノイズの発生する場所
- ⚠ 5. アース端子の表示のある機器については必ずD種接地工事を行ってください。火災、誤動作の原因となる場合があります。
- ⚠ 6. 電源アダプターは弊社製品および弊社指定製品をご使用ください。指定以外の電源を使用した場合、火災、故障の原因となる場合があります。
- ⊘ 7. 機器の上に物を置いたり、布で覆わないでください。火災、故障の原因となります。
- ⊘ 8. テレビドアホンのモニター部に力を加えないでください。破損するとけがの原因となります。
- ⊘ 9. 液晶パネルが割れた場合、パネルの内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となる場合があります。万一口に入った場合はすぐにうがいをして医師に相談してください。目に入ったたり、皮膚に付着した場合は清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師に相談してください。
- ⊘ 10. 振動、衝撃の多い場所に置かない（設置しない）でください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となる場合があります。

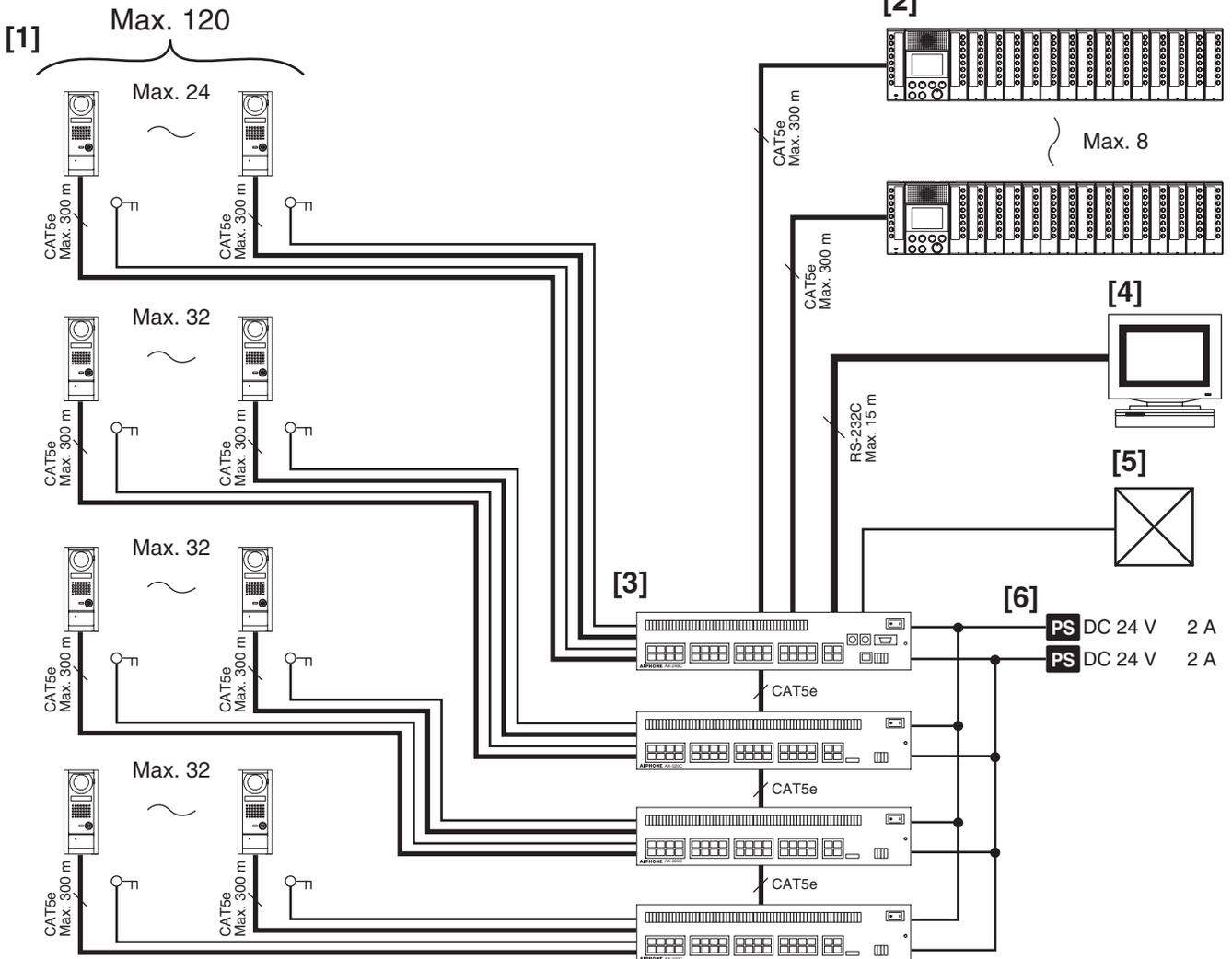
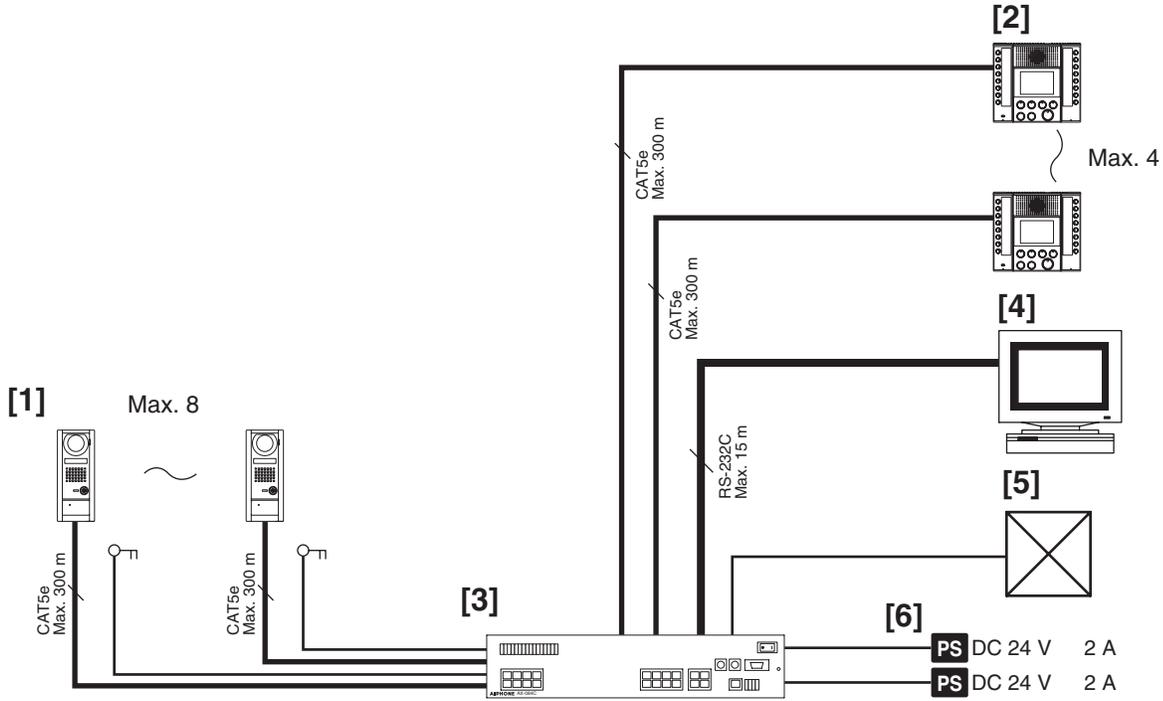
### 一般的注意事項

1. 玄関子機以外の機器はすべて屋内専用です。屋外では使用できません。
2. 放送局などのアンテナに近接する地域では、放送が混入する場合があります。
3. 携帯電話機を近接する場所で使用すると、誤動作の原因になることがあります。
4. この製品は電気錠を制御する機器で防犯機器ではありません。
5. LCDパネルは非常に精度の高い技術で作られており、一部に画素欠けや常時点灯するものもありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
6. 玄関子機は防雨仕様になっていますが、直接打ち水を当てないでください。故障の原因になります。
7. ラジオ、テレビは当製品から1m以上離してご使用ください。
8. 配線する線種はCAT5eストレートケーブルを使用してください。
9. 機器の周囲音により自然な通話ができない場合がありますが、故障ではありません。
10. 外の温度が急に下がったとき（降雨後など）、カメラ付玄関子機内部との温度差により曇りが発生し、映像がぼやけることがあります。異常ではありません。温度差がなくなると元にもどります。

<b>1</b>	<b>システム構成</b>	
	システム構成 -----	4
	キャパシティ -----	5
	統合システム例、子機 -----	6
	親機、制御機 -----	7
<b>2</b>	<b>内容物</b>	
	内容物（マリオン型子機）、（バンドルプルーフ型子機） -----	8
	内容物（親機）、（16局増設選局スイッチユニット）、（制御機） -----	9
<b>3</b>	<b>設置</b>	
	設置場所（親機）、（子機）、見える範囲 -----	10
	ケーブル、配線距離 -----	11
<b>4</b>	<b>取付</b>	
	取付（マリオン型子機） -----	12
	取付（バンドルプルーフ型子機） -----	13
	子機取付寸法 -----	14
	取付（親機） -----	16
	取付（制御機） -----	17
<b>5</b>	<b>配線</b> -----	18
<b>6</b>	<b>名称</b>	
	名称（子機） -----	20
	名称（親機） -----	21
	名称（制御機） -----	22
<b>7</b>	<b>設定</b>	
	設定ツール -----	24
	設定の開始 -----	26
	制御機設定の入力、親機設定の入力 -----	27
	子機設定の入力 -----	28
	時間設定 -----	30
	外線転送（北米のみ）、通話方式、編集メニュー -----	31
	設定のアップロードと保存 -----	32
	設定の印刷 -----	33
	システムモニター -----	34
	ログ -----	35
	ヘルプメニュー、設定ツールの終了 -----	36
<b>8</b>	<b>操作</b>	
	子機からの親機呼出と通話 -----	37
	親機からの親機呼出と通話、プライバシー（PRIV）機能 -----	38
	子機からの外線呼出と通話（北米のみ）、オールコール（通常）（親機ページング） -----	39
	オールコール（優先）（親機ページング）、モニター -----	40
	スキャンモニター、電気錠の解錠、プライオリティ -----	41
	自局親機モード別機能ボタン操作一覧表 -----	42
	新規被呼イベント -----	42
<b>9</b>	<b>技術的注意</b> -----	43
<b>10</b>	<b>仕様</b> -----	43

# 1 システム構成

## 1-1



## 1-1

### システム構成

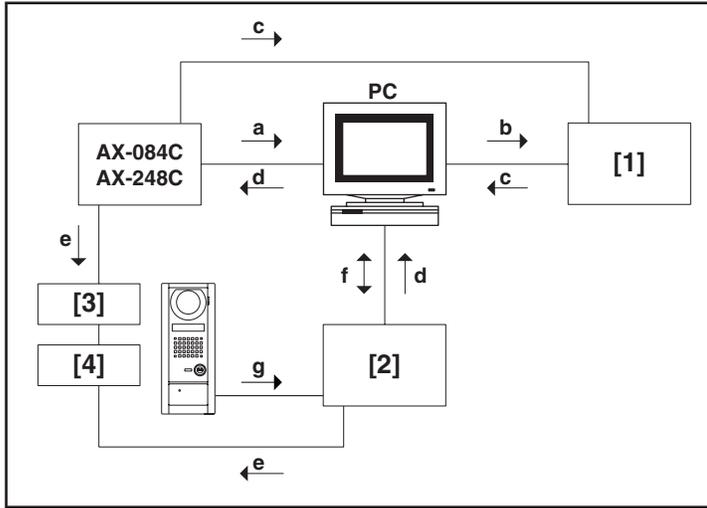
- [1] 子機
- [2] 親機
- 16局増設選局スイッチユニットを最大7台まで接続可能です。
- [3] 制御機
- 拡張増設機を最大3台まで接続可能です。
- [4] PC
- [5] その他の外部接続
  - アクセスコントロール機器
  - CCTV機器
  - 外線アダプター
  - 映像出力
- [6] 電源アダプター×2

## 1-2

### キャパシティ

- 子機 : 最大120台  
(AX-248C×1, AX-320C×3使用時)
- 親機 : 最大4台 (AX-084C使用時)  
最大8台 (AX-248C使用時)
- 電源 : PS-2420UL (DC 24 V, 2 A)  
PS-2420S (DC 24 V, 2 A)  
PS-2420DIN (DC 24 V, 2 A)  
音声用×1、映像用×1
- 通話路数 : 2
- 映像路数 : 2
- オールコール : 1
- モニター : 2 (通話路、映像路に同じ)
- スキャンモニター : 1

# 1-3



## 統合システム例

- [1] CCTVシステム
- [2] アクセスコントロールシステム
- [3] ACTランス PT1210N(北米専用)
- [4] 電気錠 EL-12S
- a. システムログ
- b. カメラ切替
- c. 映像信号
- d. リモート解錠信号
- e. 解錠
- f. 解錠履歴
- g. カードID

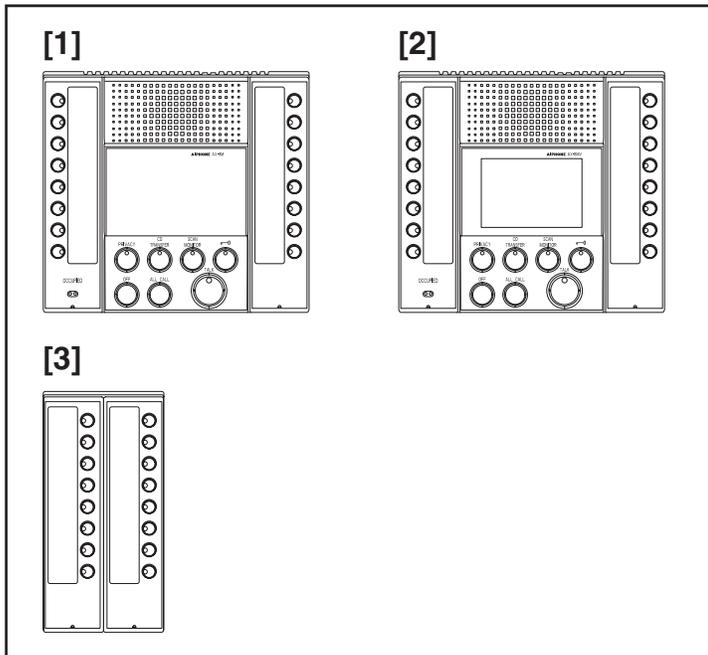
# 1-4

		a		b	
		c	d	c	d
g	e	IF-DA AX-DM 	IE-JA 	/	
	h	* IE-SS(SOP) 			
g	f	/		/	
	h				

## 子機

- a. 音声子機
- b. カメラ付子機
- c. 露出型
- d. 埋込型
- e. 非接触カードリーダー無
- f. 非接触カードリーダー有
- g. 標準型
- h. バンドルプルーフ型
- \* 北米専用

# 1-5



## 親機

[1] 親機 AX-8M

- 最大8台

[2] カラーモニター付親機 AX-8MV

- 最大8台

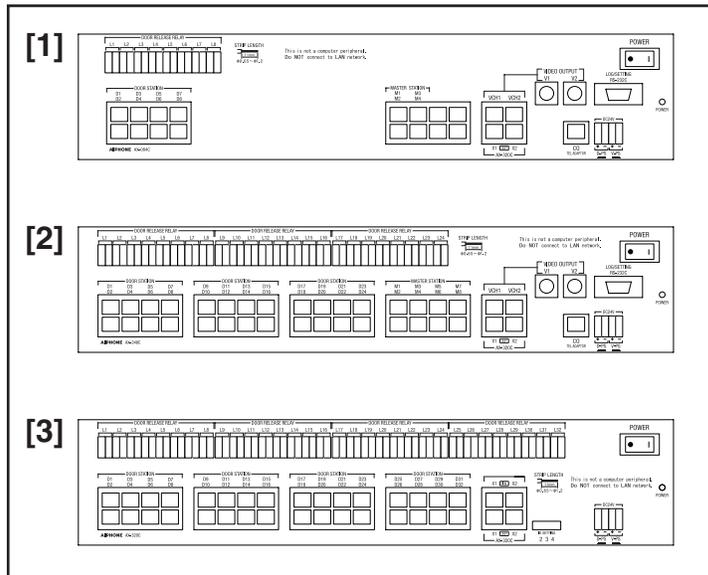
[3] 16局増設選局スイッチユニット AX-16SW

- 各AX-8MおよびAX-8MVに最大7台まで接続可能です。

メモ: 1. AX-8MおよびAX-8MVは、ヘッドセットでの使用もできます。

2. AX-8MおよびAX-8MVは、フットスイッチ、増設スピーカーが接続でき、映像出力も備えています。

# 1-6



## 制御機

[1] 標準制御機 AX-084C

- 親機最大4台、子機最大8台を接続できます。

[2] 多局制御機 AX-248C

- 親機最大8台、子機最大24台を接続できます。

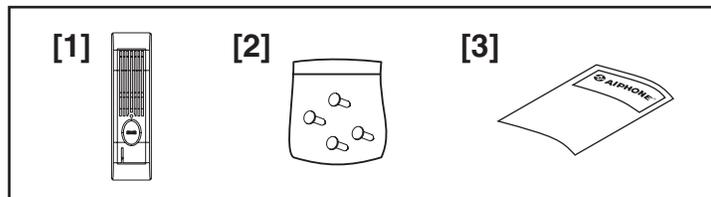
[3] 拡張増設機 AX-320C

- 子機最大32台を接続できます。

- 最大3台まで接続可能です。

## 2 内容物

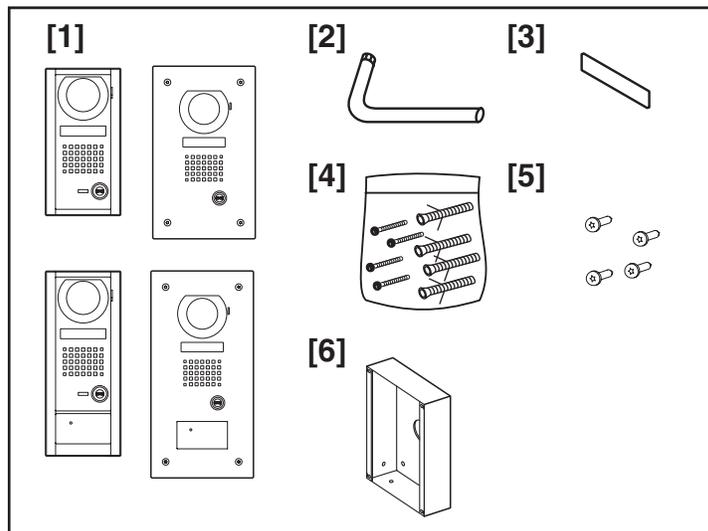
### 2-1



#### 内容物（マリオン型子機）

- [1] マリオン型玄関子機 AX-DM
- [2] 取付ビス
- [3] 取扱説明書

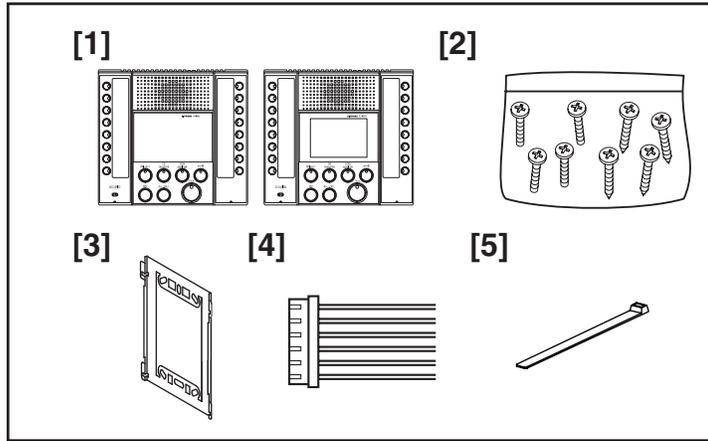
### 2-2



#### 内容物（バンドルブルーフ型子機）

- [1] バンドルブルーフ型子機 AX-DV, AX-DVF, AX-DV-P, AX-DVF-P
  - [2] 特殊ドライバー
  - [3] 記銘カード
  - [4] 取付ビスとアンカーボルト（AX-DV, AX-DV-P）
  - [5] 取付ビス（AX-DVF, AX-DVF-P）
  - [6] 埋込ボックス（AX-DVF, AX-DVF-P）
- \* [5] [6] は、AX-DVF, AX-DVF-Pと組まれた状態で梱包されています。

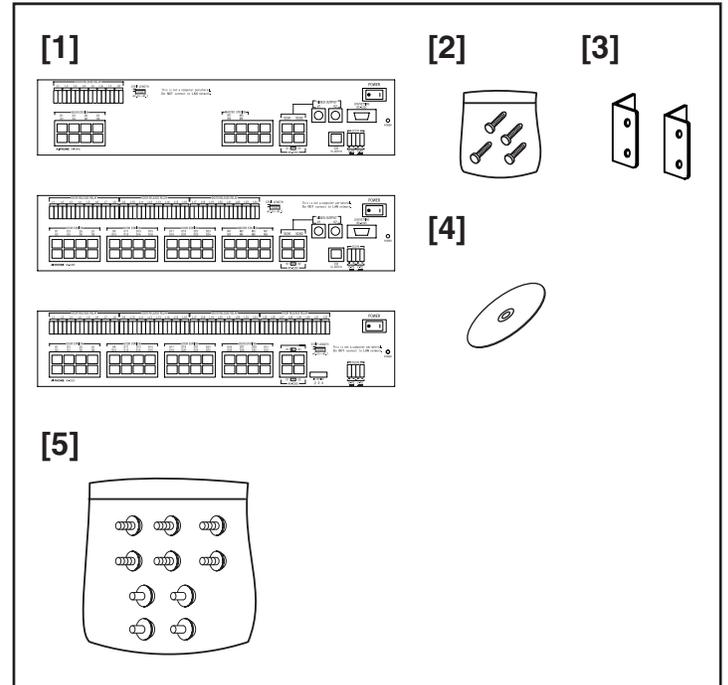
## 2-3



### 内容物（親機）

- [1] 親機 AX-8M, カラーモニター付親機 AX-8MV
- [2] 取付ビス
- [3] 取付金具
- [4] オプションコネクタ (6P)
- [5] タイラップ (卓上設置でオプションコネクタ使用時に使用)

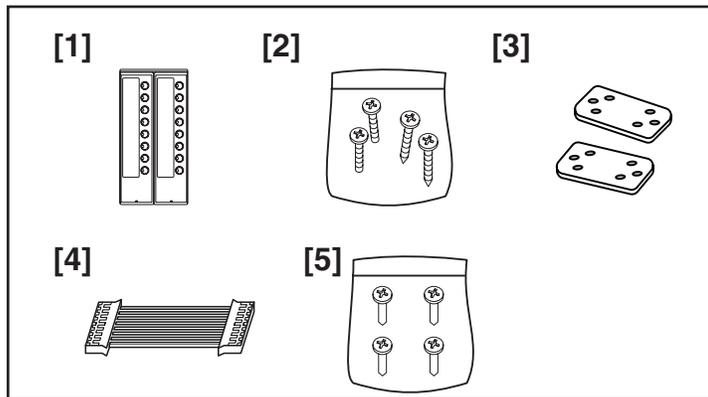
## 2-5



### 内容物（制御機）

- [1] 制御機 AX-084C, AX-248C, AX-320C
- [2] 取付ビス
- [3] ラック&壁取付金具×2
- [4] 取扱CD (AX-084C, AX-248C)
- [5] 取付ビス (ラックマウント用)

## 2-4

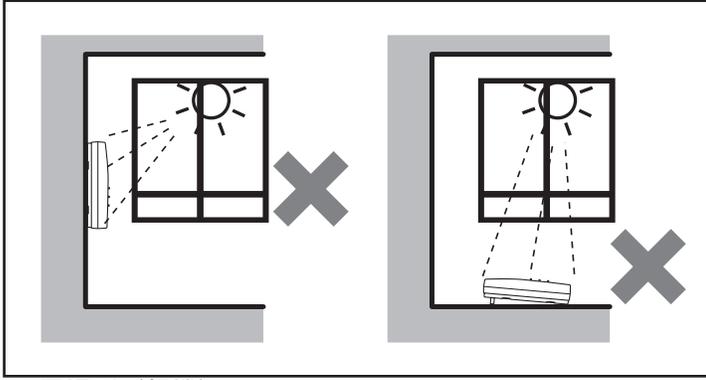


### 内容物（16局増設選局スイッチユニット）

- [1] 16局増設選局スイッチユニット AX-16SW
- [2] 取付ビス
- [3] 連結金具×2
- [4] コネクタケーブル
- [5] 選局スイッチユニット連結用ビス

### 3 設置

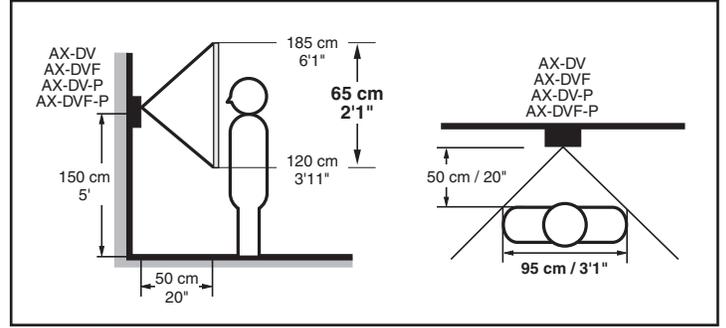
#### 3-1



##### 設置場所（親機）

モニター付親機は、画面に直射日光が当たらない場所に設置してください。

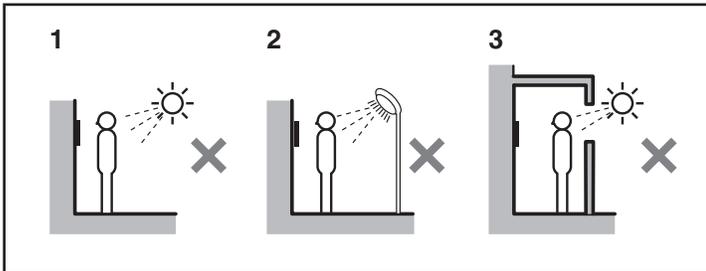
#### 3-3



##### 見える範囲

カメラ位置からの見える範囲です。

#### 3-2

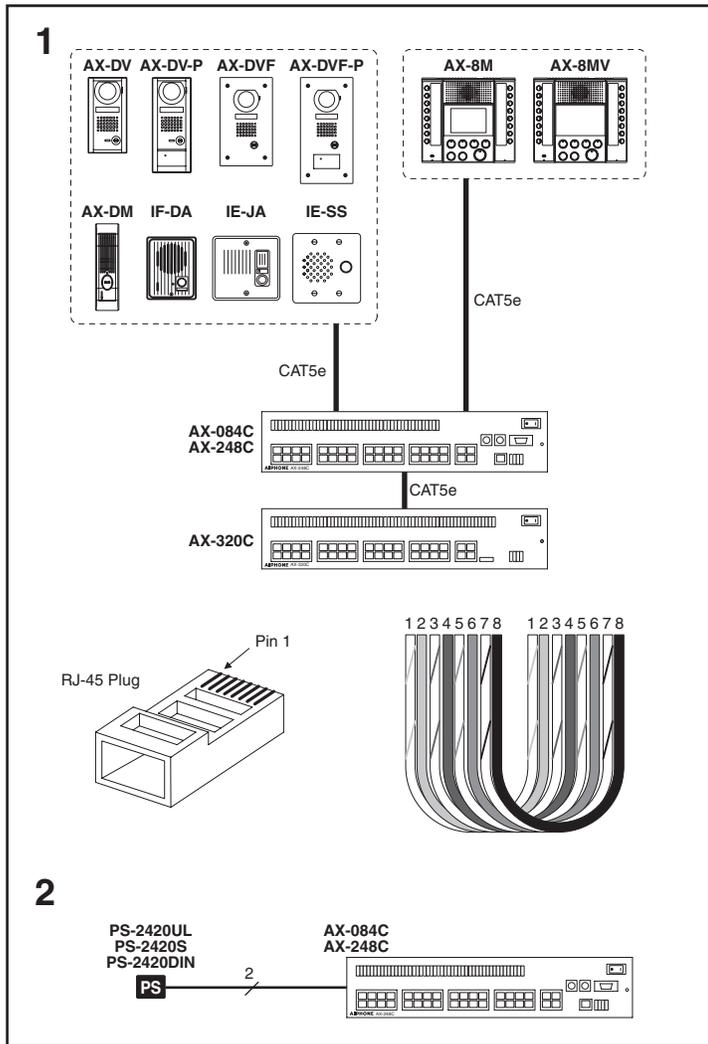


##### 設置場所（子機）

カメラ付子機は、内蔵されているカメラの性質上外部の光や周囲環境により親機モニターの映り具合に影響を与えることがありますので、以下のような場所に設置しないでください。

1. 直射日光の当たる場所
2. 街路灯や玄関灯の下
3. その他、強い光が差し込む場所

### 3-4



#### ケーブル

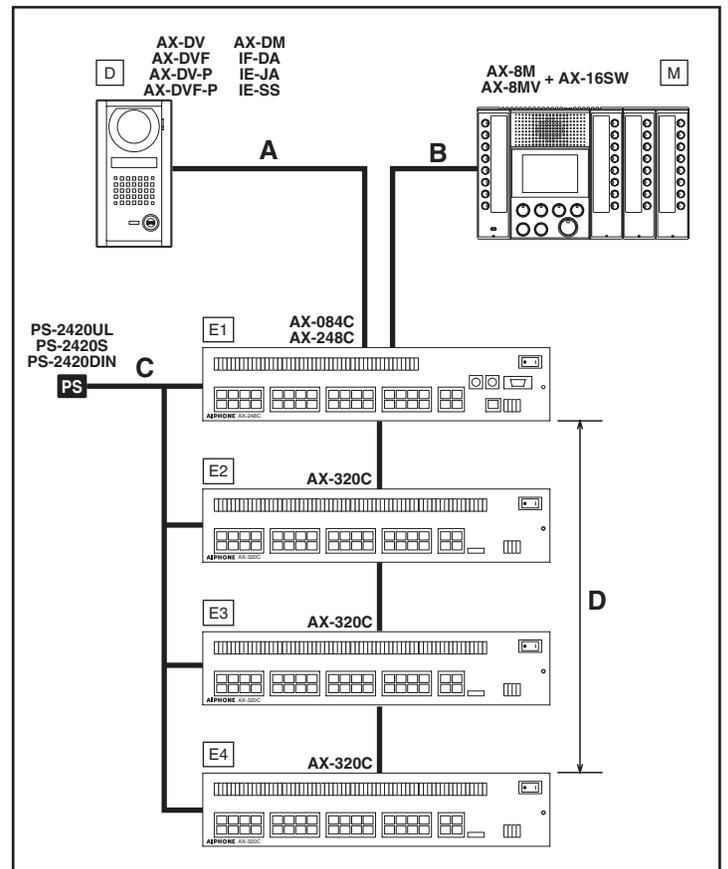
1. CAT5e (24AWG) STRAIGHT-THRU EIA/TIA 568B

- 1 白橙
- 2 橙
- 3 白緑
- 4 青
- 5 白青
- 6 緑
- 7 白茶
- 8 茶

2. 0.8 ~ 1.6 mm (20 ~ 14AWG)

- ⚠1. 各配線の先に接続先端末名のタグを付けるなどして誤配線がおこらないようにしてください。
- ⚠2. CAT5eケーブルを強く引っ張らないで下さい。ケーブルの最大引っ張り力は、11.2 kg (110N)と設定されています。

### 3-5

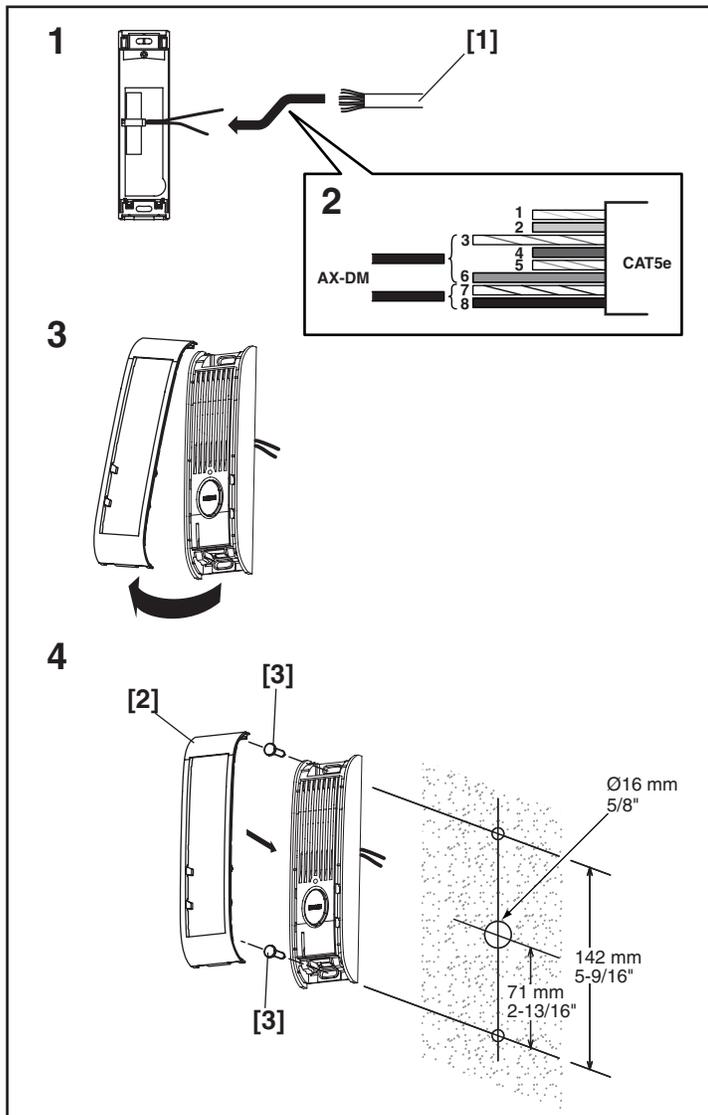


#### 配線距離

	CAT5e (24AWG)	φ0.8 ~ 1.6 mm (20 ~ 14AWG)
A	300 m (980')	-
B	300 m (980')	-
C	-	10 m (33')
D	5 m (16')	-

## 4 取付

### 4-1



#### 取付（マリオン型子機）

- AX-DMの背面にCAT5eケーブルを接続します。RJ-45プラグ無しで、3番（白緑）と6番（緑）、7番（白茶）と8番（茶）をそれぞれペアに短絡します。それ以外は使用しません。
- 白緑－緑ペアと白茶－茶ペアをAX-DMの2線、茶と赤のどちらか一方にそれぞれ接続します。
- フロントカバーの下部を持ち上げるようにして取り外します。
- 取付ビスで固定し、フロントカバーを上側のツメを引っかけてから取り付けます。

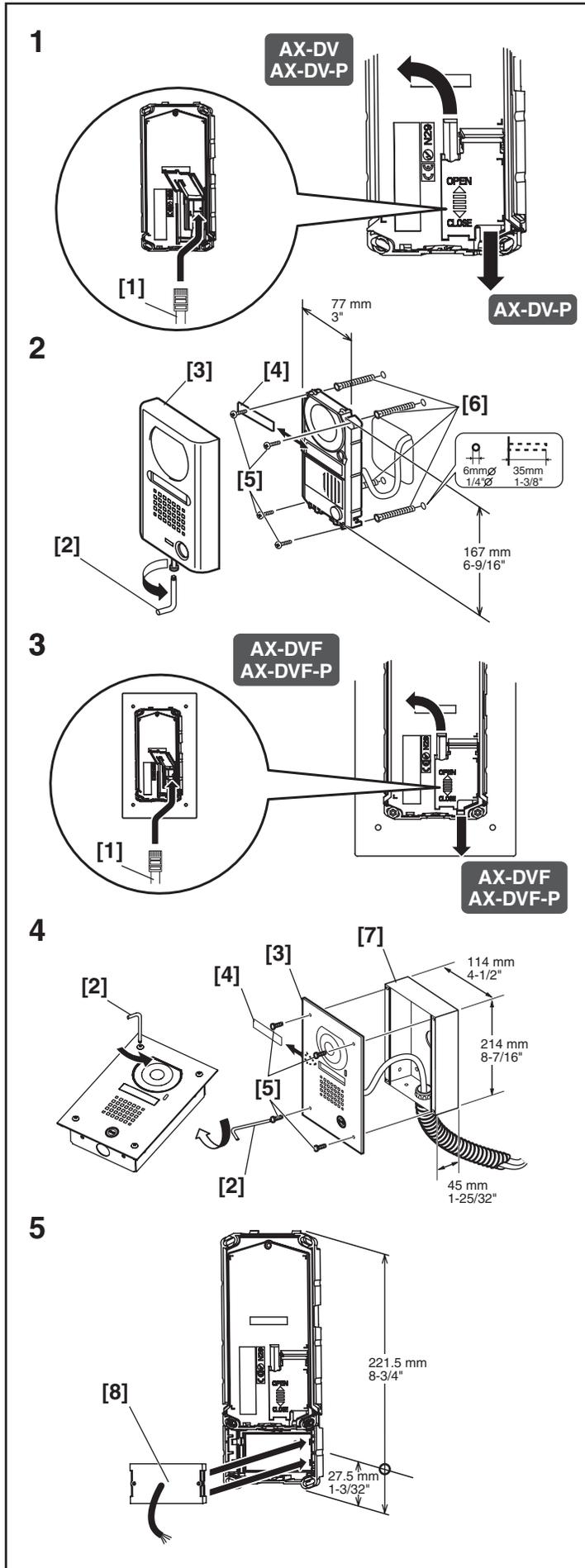
[1] CAT5eストレートケーブル

[2] フロントカバー

[3] 取付ビス

\* アルミ材などに取付の際は、下穴としてφ3.5 mm、厚みのある場合は深さ25 mm以上穴を空けてからセルフネジにて取り付けてください。

## 4-2



### 取付（バンドルプルーフ型子機）

1. 露出型子機の背面のカバーを開き、CAT5eケーブル（RJ45プラグ）を挿入します。AX-DV-Pは上下どちらか、AX-DVは上の入線口を通します。
2. 図のように取り付けます。
3. 埋込型子機の背面のカバーを開き、CAT5eケーブルを挿入します。上下どちらかの入線口を通します。
4. 図のように取り付けます。
5. 非接触カードリーダー有の子機の場合は、背面にカードリーダーを取り付けます。

[1] CAT5eストレートケーブル

[2] 特殊ドライバー

[3] フロントパネル

[4] 記銘カード

[5] 取付ビス

[6] アンカーボルト

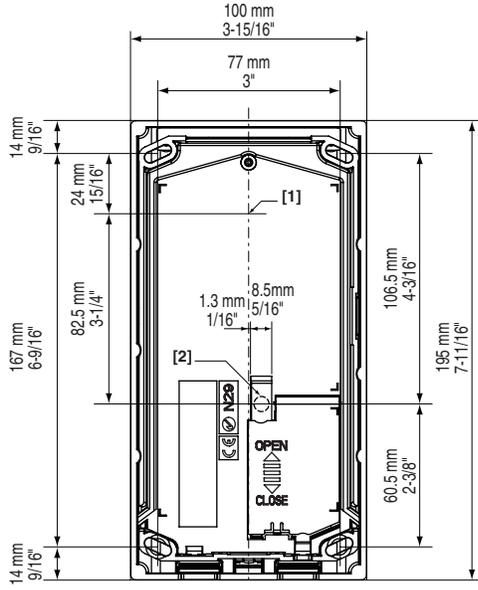
[7] 埋込ボックス

[8] 非接触カードリーダー (HID社 ProxPoint Plus™ 6005B)

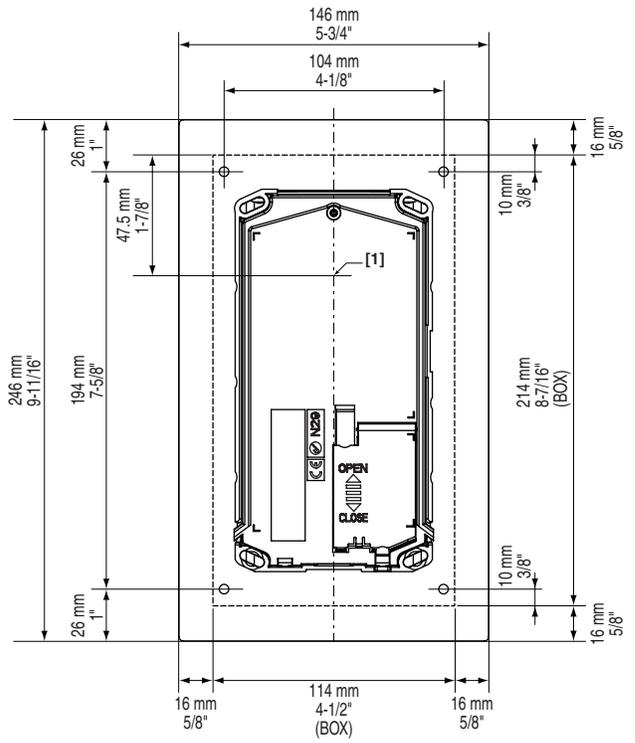
△ 背面カバーは施工後、必ず閉めてください。（カバーを「CLOSE」の方にスライドさせてロックさせる）

\* カードリーダー配線用の穴開けが必要です。

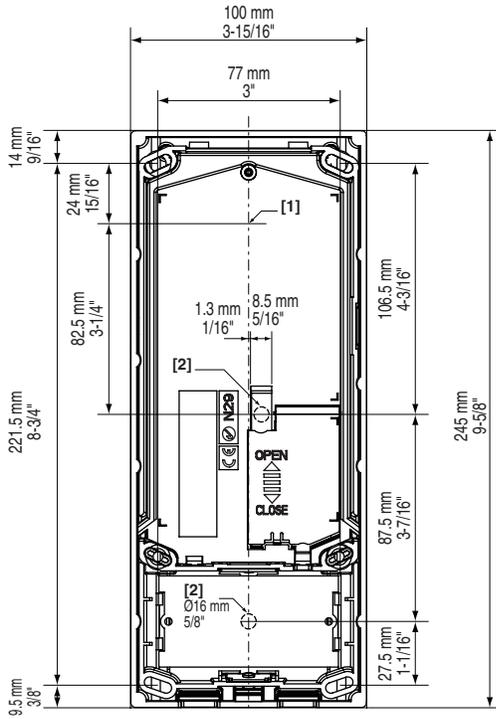
**AX-DV**



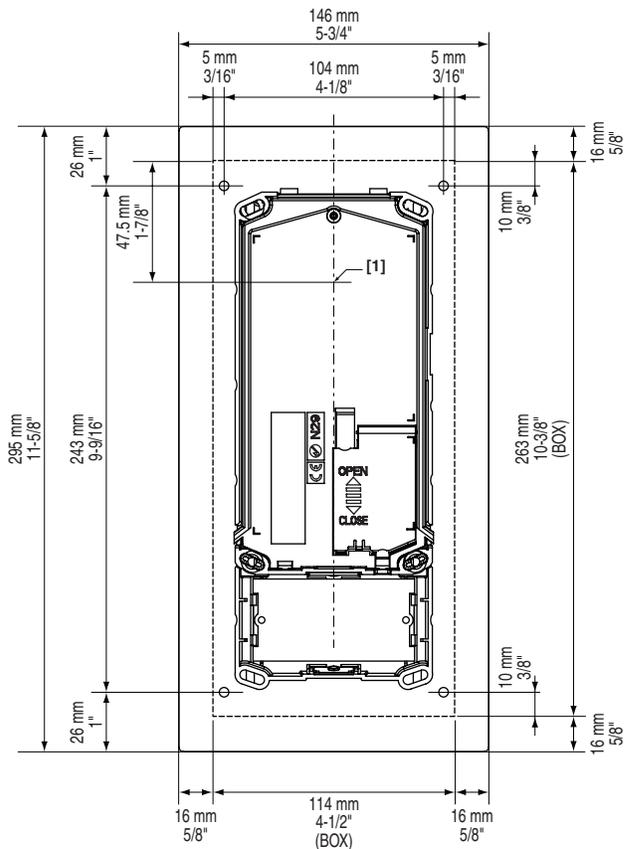
**AX-DVF**



**AX-DV-P**



**AX-DVF-P**



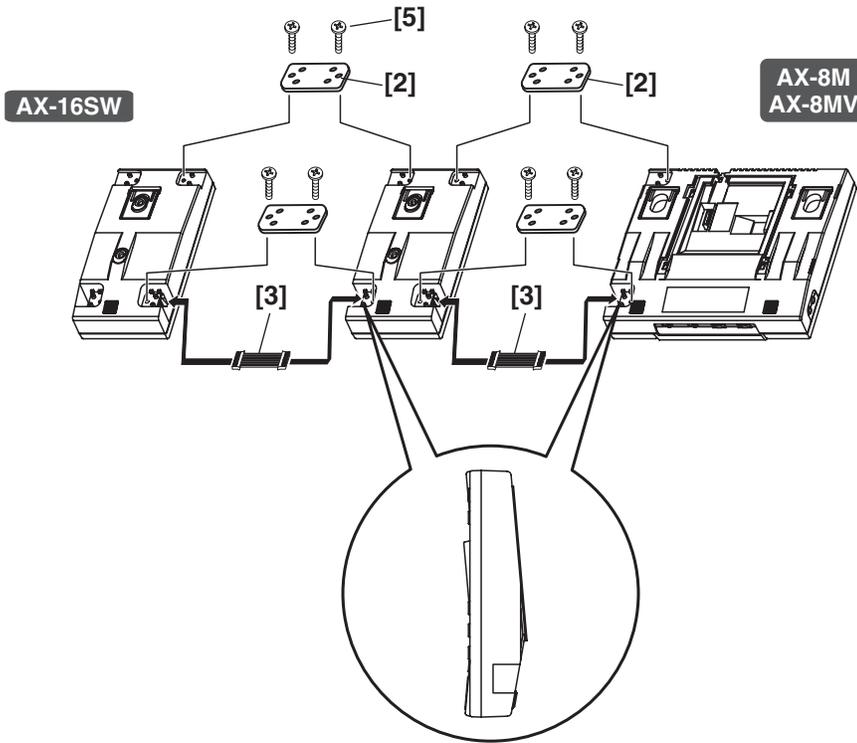
## 4-3

### 子機取付寸法

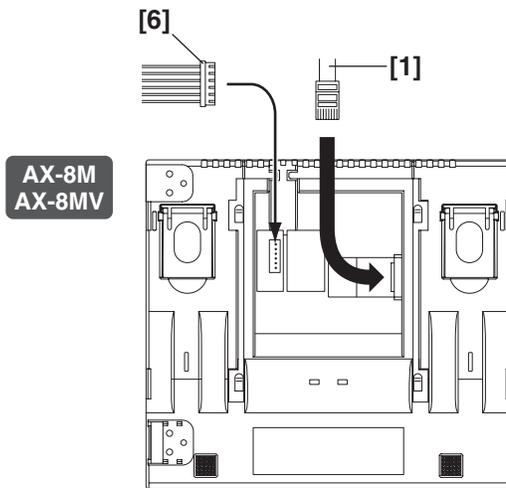
[1] カメラ中心位置

[2] 入線穴  $\phi 16 \text{ mm } 5/8''$

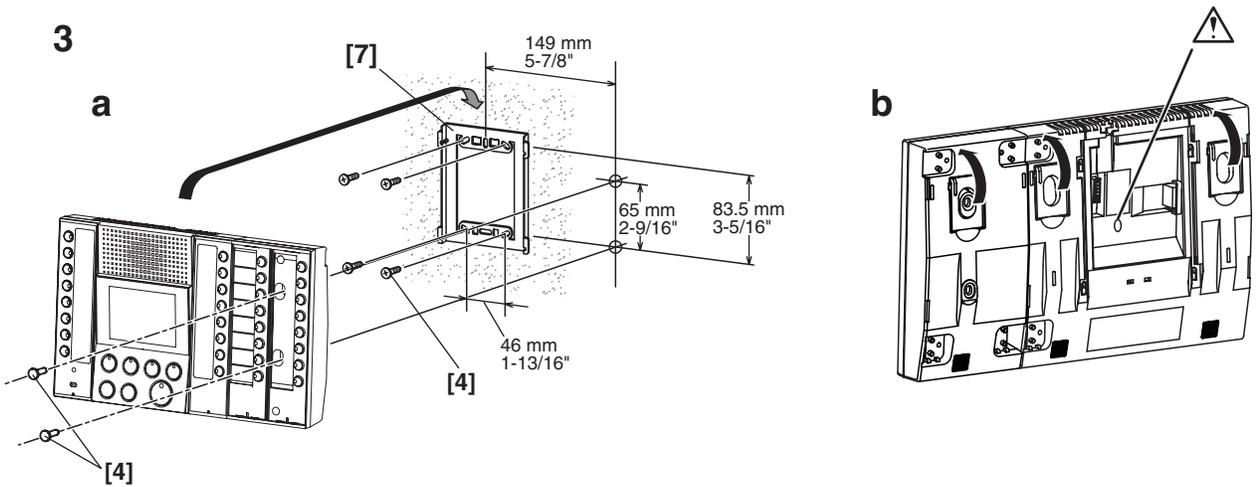
1



2



3



## 4-4

### 取付（親機）

- AX-16SWを連結する場合は、側面をコネクタケーブルで接続し、連結金具で留めます。AX-8MおよびAX-8MV右側面下部の連結金具取付部をニッパーでカットしてください。AX-16SWを2台以上連結する場合は、最端以外のユニットでカットが必要です。
- 取付金具を外し、CAT5eケーブル（RJ45プラグ）を挿入します。
- 壁掛け、卓上の両方で使用できます。
  - 壁掛けの場合、まず取付金具を壁にビスで固定し、AX-8MおよびAX-8MVを取付金具に引っ掛けて使用します。AX-16SWを連結している場合は、記銘カードを外し、その部分の穴から取付ビスで固定します。
  - 卓上で使用する場合は、各々の背面のスタンドを立ててください。また、取付金具は外してください。

[1] CAT5eストレートケーブル

[2] 連結金具

[3] コネクタケーブル

[4] 取付ビス

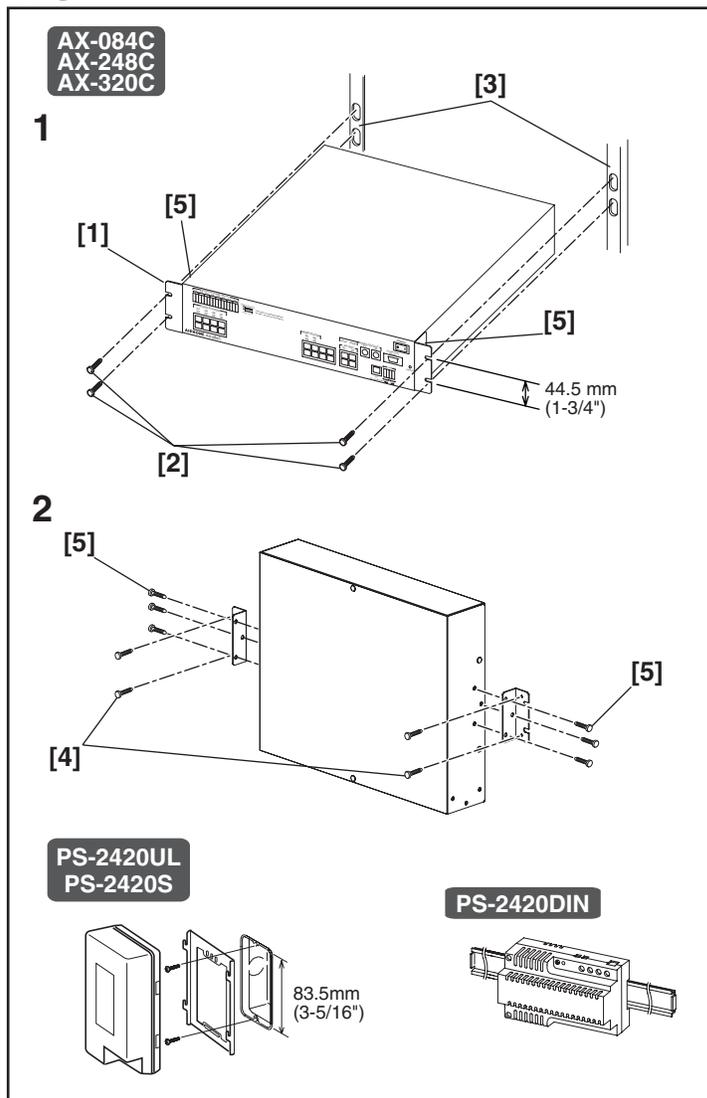
[5] 選局スイッチユニット連結ビス

[6] オプションコネクタ

[7] 取付金具

⚠ 卓上設置でオプションコネクタを接続する場合は、付属のタイラップでコネクタ線を固定して抜けないようにしてください。

## 4-5

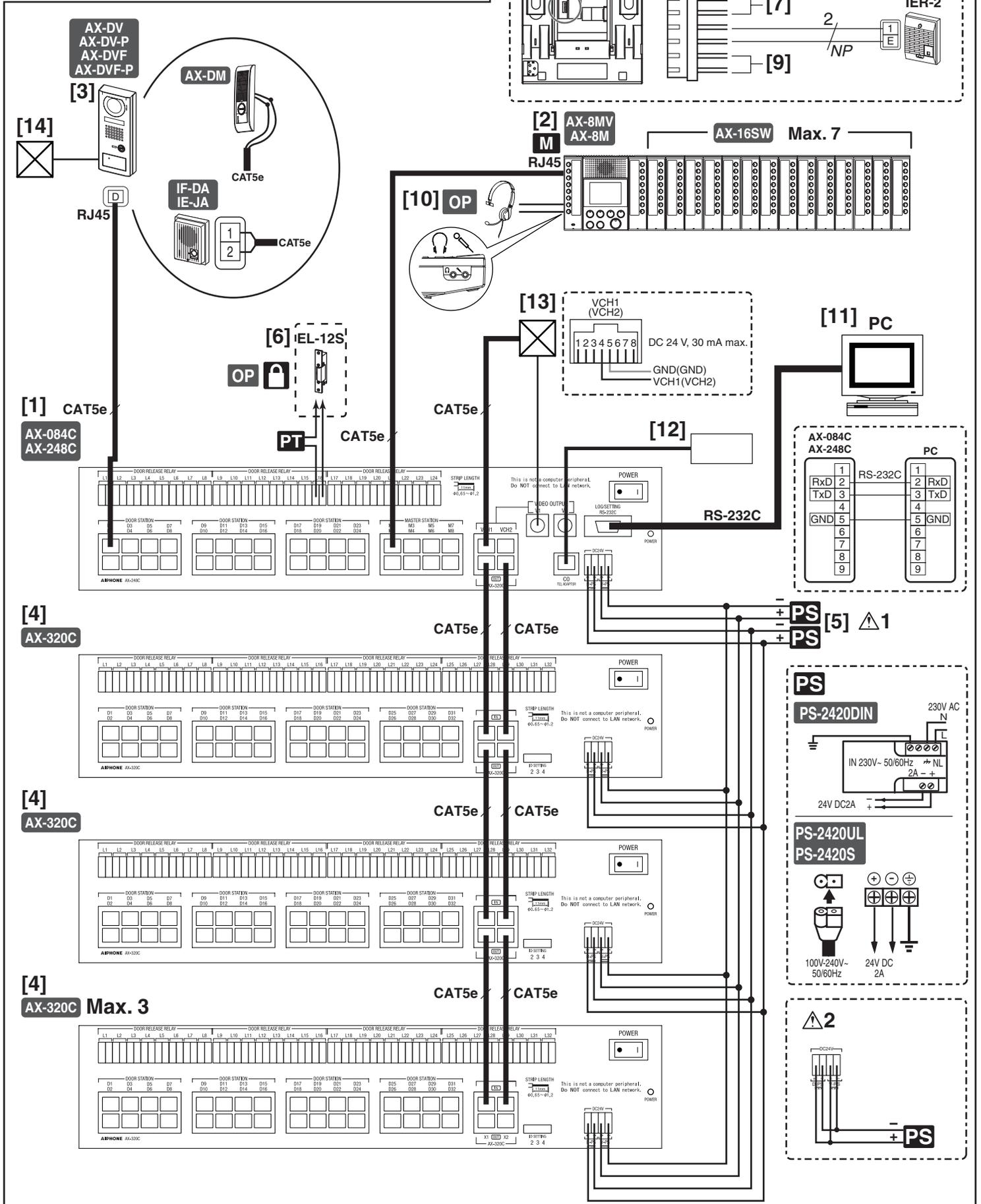


### 取付（制御機）

- 19インチラックに挿入し、前面から取付ビスで固定します。
  - 壁面に取り付ける場合は、取付金具を付属ビスで本体に取り付けてから壁面に壁面取付用ビスでしっかりと固定します。
    - ラック&壁取付金具
    - 取付ビス（ラックマウント用）
    - 19インチラック（2U）
    - 取付ビス（壁取付用）
    - 取付金具取付用ビス
- \* 壁面に取り付ける場合は、ターミナル部を下向きに取り付けてください。

# 5 配線

## 5-1



## 5-1

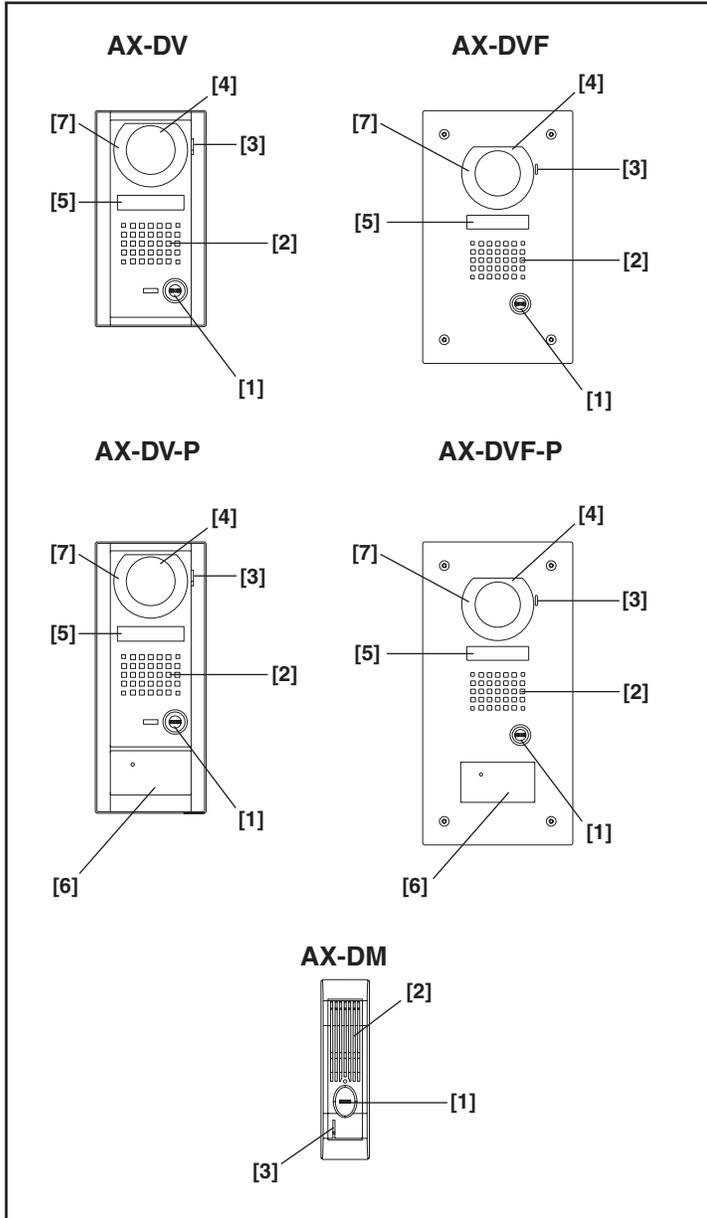
### 配線

図に示すように、配線を各端子に確実に接続してください。

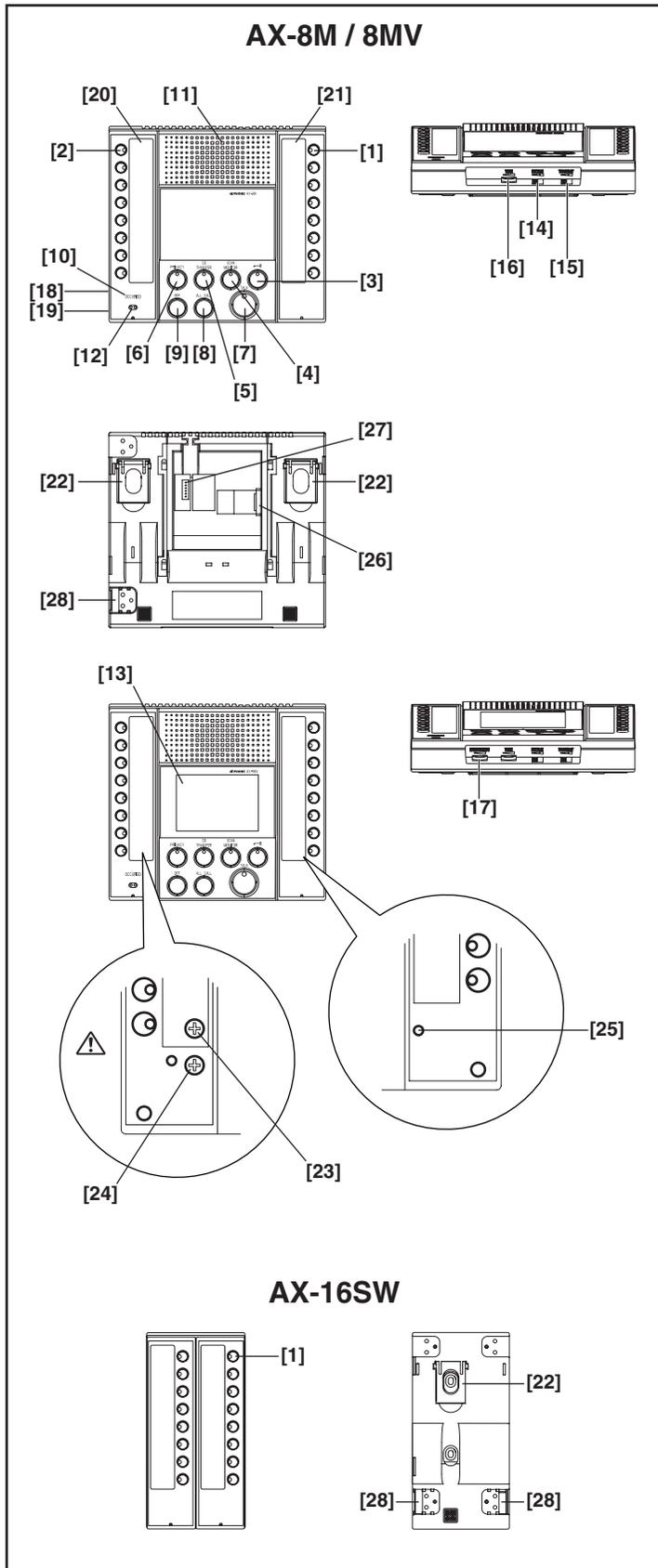
- [1] 制御機 AX-248CまたはAX-084C
- [2] モニター付親機 AX-8MVまたは親機 AX-8M  
16局増設選局スイッチユニット AX-16SW
- [3] カメラ付子機または音声子機
- [4] 拡張増設機 AX-320C  
ID設定スイッチ  
1台目:2  
2台目:3  
3台目:4
- [5] 電源アダプター(DC 24 V, 2A)
  - 映像システム:2台
    - △1.2台の電源アダプターを映像用と音声用に分けてください。
  - 音声システム:1台
    - △2.図のように接続してください。
- [6] ドアリリース EL-12S(オプション)  
別のAC変圧器を必要とします。  
子機D1, D2...に対応する端子は、それぞれL1, L2...です。  
解錠接点:AC/DC 24 V, 0.5 A(無電圧接点L, L)  
配線距離:300 m (φ 1.2 mm. 16AWG)
- [7] 映像出力(オプション):茶(ビデオ+),赤(ビデオ-)  
配線距離:15 m(同軸ケーブル:5C-2V, RG-59/U (20GA))  
未使用のコネクターリード線は切断してください。
- [8] 外接スピーカー IER-2(オプション):黄,橙  
配線距離:150 m (φ 1.0 mm. 18AWG)  
未使用のコネクターリード線は切断してください。
- [9] フットスイッチ(オプション):緑,青(無電圧接点入力)  
配線距離:15 m (φ 1.0 mm. 18AWG)  
未使用のコネクターリード線は切断してください。
- [10] ヘッドセット(オプション)
- [11] PC(ログ/設定):RS-232Cストレートケーブル(市販品)  
配線距離:15 m
- [12] 外線アダプター:Hot-Line Touch Tone Dialer  
K-1900-5 (Viking 社)(北米のみ; AIPHONE CORPORATIONへ相談ください)  
配線距離:15 m
- △PBXには接続できない場合があります。
- [13] 映像出力・映像切替用信号(映像出力時にオープンコレクタ出力されます)  
配線距離:15 m(同軸ケーブル:5C-2V, RG-59/U (20GA))
- △カメラの切り替えを行なう時は、映像が乱れる場合があります。故障ではありません。
- [14] アクセスコントロールシステム

# 6 名称

## 6-1



- 名称 (子機)  
 [1] 呼出ボタン  
 [2] スピーカー  
 [3] マイク  
 [4] カメラ  
 [5] 記録カード  
 [6] 非接触カードリーダー  
 [7] 白色LED



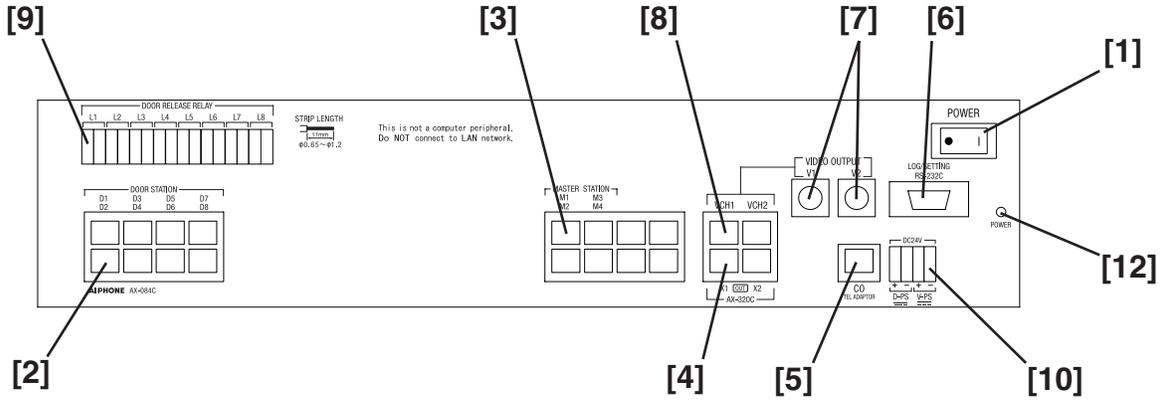
名称（親機）

- [1] 個別子機選局ボタン (LED)
- [2] 個別親機選局ボタン (LED)
- [3] 解錠ボタン (LED)
- [4] スキャンモニターボタン (LED)
- [5] 外線転送設定ボタン (LED)
- [6] プライバシー設定ボタン (LED)
- [7] 通話ボタン (LED)
- [8] オールコールボタン
- [9] 終話・OFFボタン
- [10] 話中LED
- [11] スピーカー
- [12] マイク
- [13] モニター3.5 インチカラーLCD
- [14] 受話音量調節スイッチ (小・中・大)
- [15] 送話音量調節スイッチ (小・中・大)
- [16] トーン音量調節ボリューム
- [17] 明るさ調整ボリューム
- [18] ヘッドセットレシーバジャック
- [19] ヘッドセットマイクジャック
- [20] 親機ディレクトリカードおよびカバー
- [21] 子機ディレクトリカードおよびカバー
- [22] 卓上スタンド
- [23] ヘッドセットレシーバボリューム
- [24] ヘッドセットマイクボリューム
- [25] リセットスイッチ
- [26] 制御機との接続コネクタ (RJ45)
- [27] オプションコネクタ
- [28] 増設選局スイッチユニットまたは親機との接続コネクタ

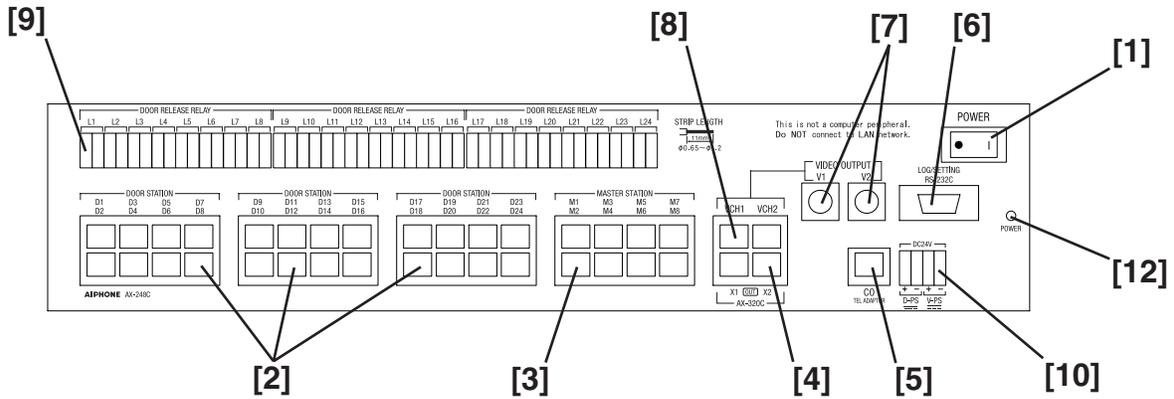
△親機ディレクトリカードの下にあるヘッドセットレシーバボリュームおよびヘッドセットマイクボリュームは、工場出荷時に調節されていますのでさわらないでください。

- \* 正常な呼出、通話などができないときは、リセットスイッチをボールペンの先などで押ししてみてください。
- \* ディレクトリカードの記入方法
  - a. ディレクトリカードを下からボールペンで押し上げるようにして曲げて取り外します。
  - b. ディレクトリカードを取り出してディレクトリを記入し、ケースのスリット部に差し込みます。
  - c. カバーを元に戻します。

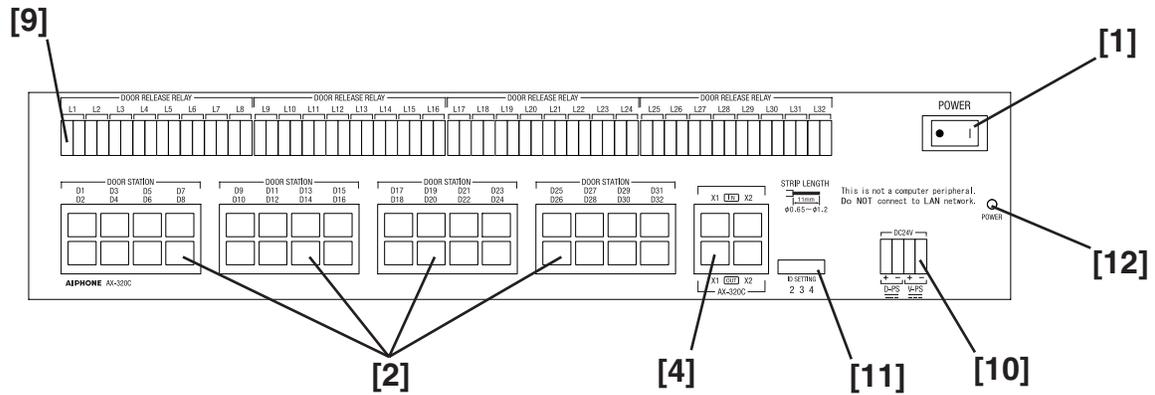
### AX-084C



### AX-248C



### AX-320C



## 6-3

### 名称（制御機）

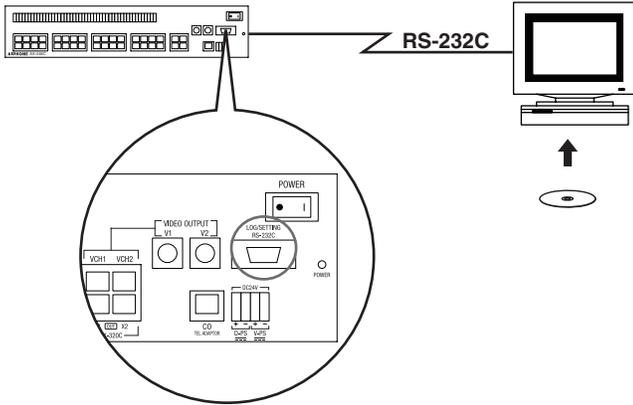
- [1] 電源スイッチ
- [2] 子機ポート
- [3] 親機ポート
- [4] 制御機ポート
- [5] 外線ポート
- [6] 設定／ログポート
- [7] 映像出力ポート
- [8] 映像出力移報ポート
- [9] 解錠用リレーポート（L1が子機D1、L2が子機D2... それぞれに対応）
- [10] 電源ポート
- [11] 拡張増設機・ID 設定スイッチ
  - 1台目：2
  - 2台目：3
  - 3台目：4
- [12] 電源／通信異常表示LED

電源／通信異常表示LED	状態
消灯	電源OFF
点灯	電源ON
点滅	機器・配線に異常があります。 システム管理者に連絡して下さい。

# 7 設定

## 7-1

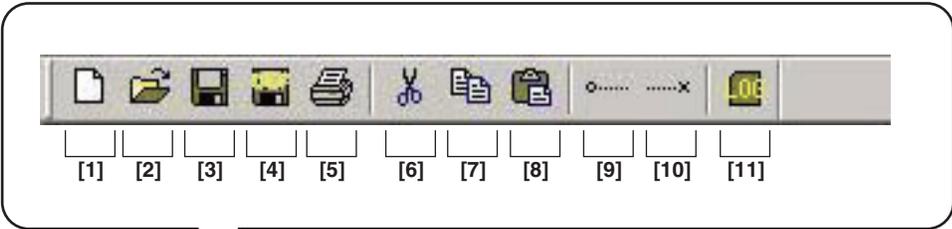
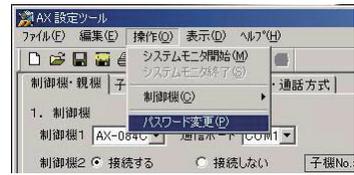
1



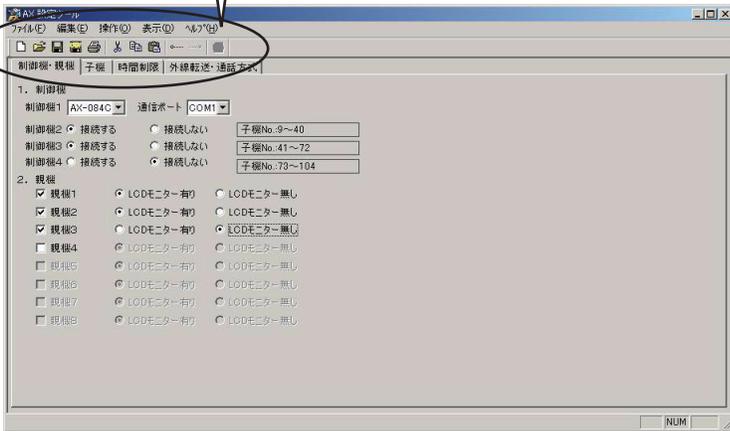
2



3



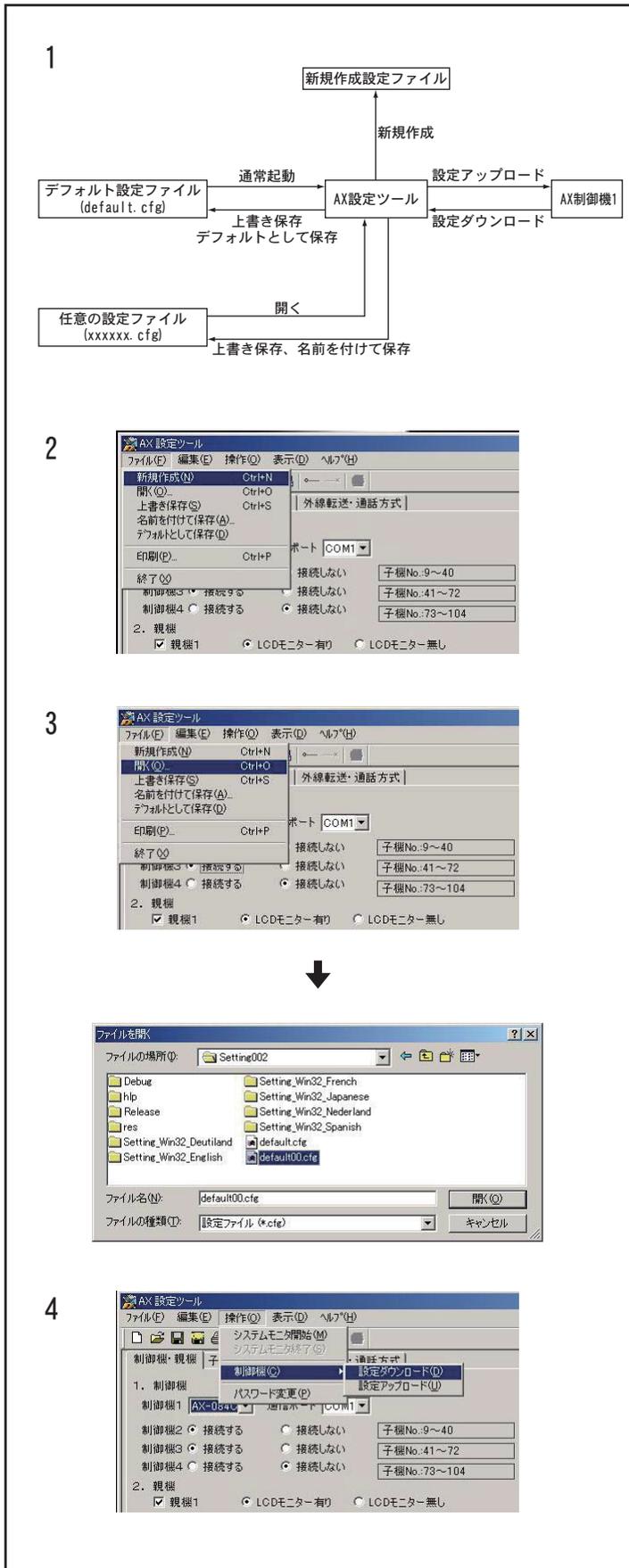
3



## 7-1

### 設定ツール

- \* 設定ツールをあらかじめPC (Windows ®) にインストールして下さい。
  - ツールソフトは制御機に付属されているCDに入っています。
  - インストール (自動オープン) は、startup.htmlを参照してください。
  - 設定ツールを保存します。設定ツールがデスクトップ画面上に作られます。
  - 1. 制御機の設定/ログポートとPCをRS-232Cストレートケーブル (市販品) で接続します。
  - 2. 設定ツールを起動 (AXSetupJP.exeをダブルクリック) します。
  - 3. 設定編集画面が開きます。
  - 設定ツールにはツールバーが用意されていて各メニュー項目が選択できるようになっています。
    - [1] 新規設定データを開く (第7-2章を参照)
    - [2] 設定データを開く (第7-2章を参照)
    - [3] 上書き保存 (第7-10章を参照)
    - [4] デフォルト設定として保存 (第7-10章を参照)
    - [5] 設定データの印刷 (第7-10章を参照)
    - [6] 切り取り (第7-9章を参照)
    - [7] コピー (第7-9章を参照)
    - [8] 貼り付け (第7-9章を参照)
    - [9] モニタを開始する (第7-11章を参照)
    - [10] モニタを終了する (第7-11章を参照)
    - [11] ログを表示/非表示する (第7-12章を参照)
  - △1. システムを使用する前に必ず設定ツールによる設定が必要です。
  - △2. 設定中はシステムはダウンしており、設定後にリセットされます。
  - △3. デフォルトのパスワードは「9999」です。任意のパスワードに変更する場合は、パスワード変更メニューで変更してください。
  - ファイルメニューより「パスワード変更」メニューを選択します。
  - パスワード変更用ダイアログが表示されます。
  - 新しいパスワードを入力してOKをクリックします。
- メモ: 1. パスワードは半角数字4文字のみです。  
2. 設定ツールを起動するには、デスクトップ画面上にある設定ツール「AXsetupJP.exe」を起動します。



## 設定の開始

### 1. 設定ファイルとファイル操作

- 設定ツールを起動するとデフォルトデータが読み込まれて表示されます。
- デフォルト設定ファイル以外の設定ファイルを使用する場合は、ファイルメニューより「開く」メニューを選択して他の設定ファイルを選択します。
- △設定ファイルの拡張子は「cfg」のみで、拡張子のAX設定ツールアプリケーションとの関連付けはサポートしません。

### 2. 新規作成メニュー

ファイルメニューより「新規作成(N)」を選択すると設定データを新規作成します。設定ツールの設定編集画面で編集時の設定データがある場合は、デフォルト設定にて更新されます。

### 3. 開くメニュー

ファイルメニューより「開く(O)」を選択すると、デフォルト設定ファイル以外の設定データを表示、編集できます。メニュー選択後、ファイル選択ダイアログが表示され、設定ファイルを選択して「開く(O)」ボタンを押すと設定ファイルの読み込み処理を開始します。編集時の設定データがある場合は、すべて選択した設定ファイルのデータで上書きされます。

### 4. 設定ダウンロードメニュー

操作メニューより「設定ダウンロード(D)」を選択すると、制御機より設定データをダウンロードできます。編集時の設定データがある場合は、すべて制御機よりダウンロードしたデータで上書きされます。

## 7-3

**1**

1. 制御機

制御機1	AX-084C	通信ポート	COM1	
制御機2	AX-084C	<input type="radio"/>	接続しない	
制御機3	AX-248C	<input checked="" type="radio"/>	接続する	
制御機4	<input type="radio"/>	接続する	<input checked="" type="radio"/>	接続しない

**2**

1. 制御機

制御機1	AX-084C	通信ポート	COM1		
制御機2	<input checked="" type="radio"/>	接続する	<input checked="" type="radio"/>	接続	COM1
制御機3	<input checked="" type="radio"/>	接続する	<input type="radio"/>	接続しない	COM2
制御機4	<input type="radio"/>	接続する	<input checked="" type="radio"/>	接続しない	

**3**

1. 制御機

制御機1	AX-084C	通信ポート	COM1	
制御機2	<input checked="" type="radio"/>	接続する	<input type="radio"/>	接続しない
制御機3	<input checked="" type="radio"/>	接続する	<input type="radio"/>	接続しない
制御機4	<input type="radio"/>	接続する	<input checked="" type="radio"/>	接続しない

### 制御機設定の入力

- 「制御機1」は使用する機器を「AX-084C」または「AX-248C」より選択します。
  - 「通信ポート」は制御機1と接続するPCのシリアル通信ポートを選択します。
  - 「制御機2」～「制御機4」の中で接続する増設制御機を選択します。
- ⚠ 制御機2を接続しないで、制御機3を接続するというような途中を接続しない設定はできません。

## 7-4

2. 親機

<input checked="" type="checkbox"/> 親機1	<input type="radio"/> LCDモニター有り	<input checked="" type="radio"/> LCDモニター無し
<input type="checkbox"/> 親機2	<input checked="" type="radio"/> LCDモニター有り	<input type="radio"/> LCDモニター無し
<input type="checkbox"/> 親機3	<input checked="" type="radio"/> LCDモニター有り	<input type="radio"/> LCDモニター無し
<input type="checkbox"/> 親機4	<input checked="" type="radio"/> LCDモニター有り	<input type="radio"/> LCDモニター無し
<input type="checkbox"/> 親機5	<input checked="" type="radio"/> LCDモニター有り	<input type="radio"/> LCDモニター無し
<input type="checkbox"/> 親機6	<input checked="" type="radio"/> LCDモニター有り	<input type="radio"/> LCDモニター無し
<input type="checkbox"/> 親機7	<input checked="" type="radio"/> LCDモニター有り	<input type="radio"/> LCDモニター無し
<input type="checkbox"/> 親機8	<input checked="" type="radio"/> LCDモニター有り	<input type="radio"/> LCDモニター無し

### 親機設定の入力

- 「親機1」～「親機8」の中で接続する親機にチェックをします。
- 接続する親機を設定すると親機の「LCDモニター有り」、「LCDモニター無し」設定が設定可能になるため親機のLCDモニター設定を選択します。

1

3. 子機

制御機 No.	No.	名称	子機種別	優先度	解錠設定	スキャンモーター	呼出音							
							@親機1	@親機2	@親機3	@親機4	@親機5	@親機6	@親機7	@親機8
1	1	No1 Station	無	通常	メー	する	On							
	2	No2 Station	無	通常	メー	する	On							
	3	No3 Station	無	優先	メー	する	On							
	4	No4 Station	無	通常	メー	する	On							
	5	No5 Station	音声	通常	ブレー	する	On							
	6	No6 Station	無	優先	メー	する	On							
	7	No7 Station	カマ	通常	メー	する	On							
	8	No8 Station	無	通常	メー	する	On							
2														

[1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8]

[9]

[3]

No.	名称	子機種別	優先度	解錠設定	スキャンモーター
1	No1 Station	無	通常	メー	する
2	No2 Station	無	通常	メー	する
3	No3 Station	無	優先	メー	する

↓

No.	名称	子機種別	優先度	解錠設定	スキャンモーター
1	No1 Station	無	通常	メー	する
2	No2 Station	無	通常	メー	する
3	No3 Station	無	優先	メー	する

↓

No.	名称	子機種別	優先度	解錠設定	スキャンモーター
1	No1 Station	無	通常	メー	する
2	Main Gate 02	無	通常	メー	する
3	No3 Station	無	優先	メー	する

↓

No.	名称	子機種別	優先度	解錠設定	スキャンモーター
1	No1 Station	無	通常	メー	する
2	Main Gate 02	無	通常	メー	する
3	No3 Station	無	優先	メー	する

[4]

No.	名称	子機種別	優先度	解錠設定	スキャンモーター
1	No1 Station	無	通常	メー	する
2	Main Gate 02	無	通常	メー	する
3	No3 Station	無	優先	メー	する
4	No4 Station	無	通常	メー	する
5	No5 Station	音声	通常	ブレー	する
6	No6 Station	無	優先	メー	する

↓

No.	名称	子機種別	優先度	解錠設定	スキャンモーター
1	No1 Station	無	通常	メー	する
2	Main Gate 02	無	通常	メー	する
3	No3 Station	無	優先	メー	する
4	No4 Station	無	通常	メー	する
5	No5 Station	音声	通常	ブレー	する
6	No6 Station	無	優先	メー	する

↓

No.	名称	子機種別	優先度	解錠設定	スキャンモーター
1	No1 Station	無	通常	メー	する
2	Main Gate 02	無	通常	メー	する
3	No3 Station	無	優先	メー	する
4	No4 Station	カマ	通常	メー	する
5	No5 Station	音声	通常	ブレー	する
6	No6 Station	無	優先	メー	する

↓

No.	名称	子機種別	優先度	解錠設定	スキャンモーター
1	No1 Station	無	通常	メー	する
2	Main Gate 02	カマ	通常	メー	する
3	No3 Station	無	優先	メー	する
4	No4 Station	無	通常	メー	する
5	No5 Station	音声	通常	ブレー	する
6	No6 Station	無	優先	メー	する

2

3. 子機

制御機 No.	No.	名称	子機種別	優先度	解錠設定	スキャンモーター	呼出音							
							@親機1	@親機2	@親機3	@親機4	@親機5	@親機6	@親機7	@親機8
3	71		カマ	通常	メー	する	On							
	72		カマ	通常	メー	する	On							

3

3. 子機

制御機 No.	No.	名称	子機種別	優先度	解錠設定	スキャンモーター	呼出音							
							@親機1	@親機2	@親機3	@親機4	@親機5	@親機6	@親機7	@親機8
1	1	No1 Station	無	通常	メー	する	On							
	2	Main Gate 02	カマ	通常	デフォルト設定に戻す(Q)	する	On							
	3	No3 Station	無	優先		する	On							
	4	No4 Station	無	通常	行コピー(C)	する	On							
	5	No5 Station	音声	通常	行貼り付け(E)	する	On							
	6	No6 Station	無	優先		する	On							
	7	No7 Station	カマ	通常	親機1~8	する	On							
	8	No8 Station	無	通常	メー	する	On							

## 7-5

### 子機設定の入力

\* 子機設定の入力方法は、個別入力、行コピー貼り付け入力、列一括入力の3つの方法があります。

#### 1. 個別入力

[1] 制御機番号（入力不可）

• 該当する子機が接続する制御機の番号を表示します。入力不可のセルです。

[2] 番号（入力不可）

• 親機にLED表示される子機番号を表示します。入力不可のセルです。

[3] 名称

• PCモニター表示用の名称です。入力しなくてもかまいません。入力または編集する場合、セル部分をマウスでクリックします。Enterキーまたは他のセル等のクリックで終了します。

[4] 子機種別

• 該当する子機の設定を「無」、「カメラ」および「音声」の中より選択します。セル部分をマウスでクリックすると、ドロップダウンリストが表示されます。クリックして選択します。Enterキーまたは他のセル等のクリックで終了します。

[5] 優先度

• 該当する子機の呼出レベルを「通常」または「優先」の中より選択します。

[6] 解錠設定

• 該当する子機の電気錠を解錠する操作を「メーク」または「ブレイク」の中より選択します。

[7] スキャンモニター

• 該当する子機のスキャンモニター対象設定を「する」または「しない」の中より選択します。

[8] 親機呼出音設定

• 該当する子機より呼出が発生した場合、親機の呼出音を鳴動させる設定を「On」または「Off」の中より選択します。この設定では親機設定で接続しないとした親機の設定も行ないます。

[9] 子機リストスクロールバー

#### 2. 行コピー貼り付け入力

有効なセル内でマウス右ボタンを押すと子機編集用メニューが表示されます。

• 「デフォルト設定に戻す」は子機設定の種別～親機呼出音までの設定値をデフォルト値に戻します。

• 「行コピー」および「行貼り付け」は子機設定を1行単位でコピー／貼り付けが行えます。ただし、ここでコピーした行はAX設定ツールの他のアプリケーションに貼り付けることはできません。貼り付けも同様に他のアプリケーションにてコピーしたデータの貼り付けは行えません。

• 「親機1～8」は呼出音設定をすべての親機に適用することができます。

#### 3. 列一括入力

• 列のトップタイトル部でマウスを右クリックすると、列入力用メニューが表示されます。

• メニュー内で選択すると、全列が一括入力されます。

#### 4. 制御機設定との関連

子機設定では制御機設定で接続しないとした制御機に割り当てられている子機については編集できません。

# 7-6

## 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10

[1] 4. 時間設定

子機呼出(通常)  (秒)  (10~600秒)  (無制限)

子機呼出(優先)  (秒)  (10~600秒)  (無制限)

オールコール(通常)  (秒) (10~600秒)

オールコール(優先)  (秒) (10~600秒)

外線呼出  (秒) (10~300秒)



[2] 4. 時間設定

子機呼出(通常)  (秒)  (10~600秒)  (無制限)

子機呼出(優先)  (秒)  (10~600秒)  (無制限)

オールコール(通常)  (秒) (10~600秒)

オールコール(優先)  (秒) (10~600秒)

外線呼出  (秒) (10~300秒)



[3] 4. 時間設定

子機呼出(通常)  (秒)  (10~600秒)  (無制限)

子機呼出(優先)  (秒)  (10~600秒)  (無制限)

オールコール(通常)  (秒) (10~600秒)

オールコール(優先)  (秒) (10~600秒)

外線呼出  (秒) (10~300秒)



[4] 4. 時間設定

子機呼出(通常)  (秒)  (10~600秒)  (無制限)

子機呼出(優先)  (秒)  (10~600秒)  (無制限)

オールコール(通常)  (秒) (10~600秒)

オールコール(優先)  (秒) (10~600秒)

外線呼出  (秒) (10~300秒)



[5] 4. 時間設定

子機呼出(通常)  (秒)  (10~600秒)  (無制限)

子機呼出(優先)  (秒)  (10~600秒)  (無制限)

オールコール(通常)  (秒) (10~600秒)

オールコール(優先)  (秒) (10~600秒)

外線呼出  (秒) (10~300秒)



[6] 4. 時間設定

子機呼出(通常)  (秒)  (10~600秒)  (無制限)

子機呼出(優先)  (秒)  (10~600秒)  (無制限)

オールコール(通常)  (秒) (10~600秒)

オールコール(優先)  (秒) (10~600秒)

外線呼出  (秒) (10~300秒)

### 時間設定

#### 1. 子機呼出(通常)時間設定

- [1] 時間設定の範囲は「10~600秒」または「無制限」です。呼出時間を変更する場合は「(10~600秒)」をクリックします。
- [2] 秒数が表示されているボックスをクリックすると編集可能になりスピンドットが表示されます。
- [3] 上のスピンドットを押すと設定時間が増大し、下のスピンドットを押すと設定時間が減少します。このとき、それぞれの上限值および下限値を超えて数値が変化することはできません。
- [4] 秒数のボックスをクリックすると直接秒数を入力できます。
- [5] Enterキー入力または他の秒数をクリックすることで、入力が確定します。
- [6] 呼出時間を無制限にしたい場合は「無制限」をクリックします。

#### 2. 子機呼出(優先)時間設定

- 子機呼出(通常)と操作方法は同一です。

#### 3. オールコール(通常)時間設定

#### 4. オールコール(優先)時間設定

#### 5. 外線呼出時間設定

- 外線呼出時間より子機呼出時間が短い場合は、子機呼出時間に設定されます。

#### 6. 通話時間設定

#### 7. 外線通話時間設定

#### 8. 解錠時間設定

#### 9. モニター時間設定

#### 10. スキャンモニター子機切替時間設定

- \* いずれの場合も、秒数の変更操作方法は子機呼出(通常)と同一です。

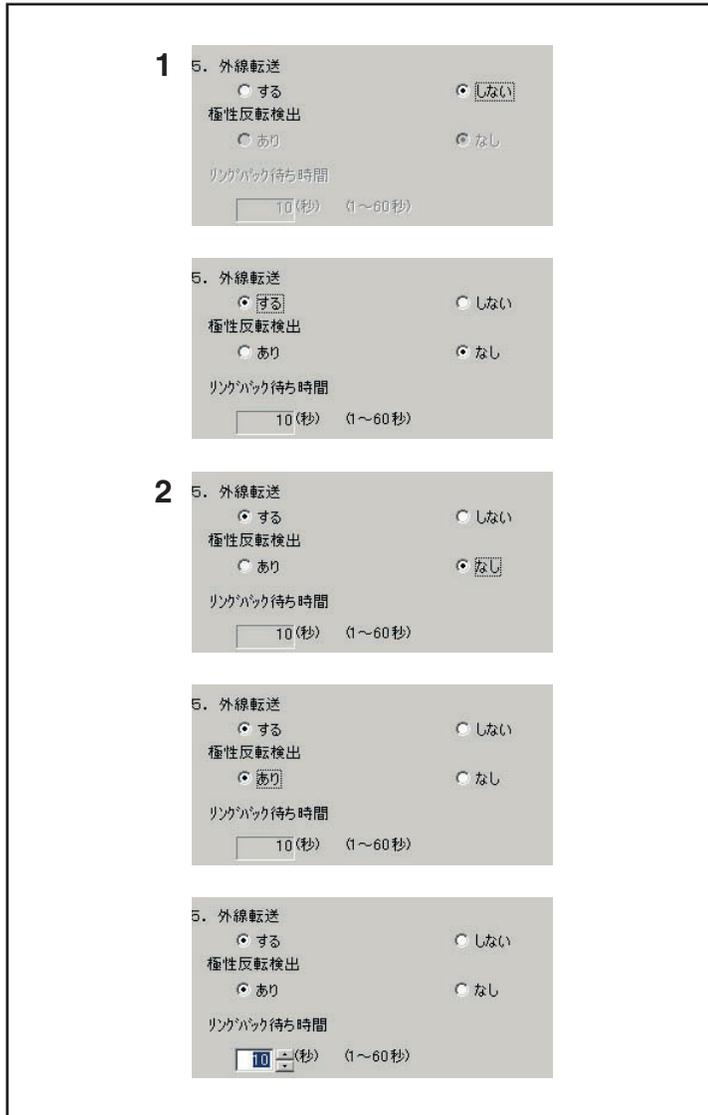
メモ: 1. 通話とは、親機-子機および親機-親機の両方を指します。

2. 解錠タイマーを「0」に設定すると、親機で解錠ボタンを押している間解錠します。

3. スキャンモニターは連続動作です。

	最小(Sec)	最大(Sec)	既定値(Sec)
呼出(通常)	10	(600)無限	30
呼出(優先)	10	(600)無限	300
オールコール(通常)	10	600	60
オールコール(優先)	10	600	60
外線呼出	10	300	60
通話	30	600	60
外線通話	30	600	120
解錠	0	60	10
モニター	10	600	60
スキャンモニター	5	60	5

## 7-7



### 外線転送(北米のみ)

1. 子機呼出を外線転送する場合は「する」を、しない場合は「しない」をクリックします。
2. 外線転送する場合、外線の検出方法とリングバック待ち時間を設定します。

[1] 外線の検出方法: 極性反転により外線を検出する場合は「あり」、しない場合は「なし」を選択します。

- \* 接続する電話交換機に極性反転機能がある場合、応答検出用に「あり」を選択すると応答が速くなります。

[2] リングバック待ち時間設定: 時間設定の範囲は「1~60秒」です。初期設定値は10秒です。

メモ: これはAXシステムの設定だけです。外線転送機能を動作させるには制御機にViking社 K-1900-5 を接続してください。

Viking社 K-1900-5 の設定機能は、"allow touch tone user dialing after speed dial"を設定してください。詳細はViking社 K-1900-5 の説明書をご覧ください。

- △ 1. 国際電話をかける場合、ダイヤル先の国によってはつながらないこともあります。
- △ 2. PBXに接続できない場合があります。

## 7-8



### 通話方式

- ハンズフリー: ハンズフリーとプレストーク通話ができます。
- プレストーク: プレストーク通話のみができます。
- △ プレストークは、ハンズフリーに比べて送話音量が大きくなります。また、送話音量調節スイッチでの音量変更はできません。

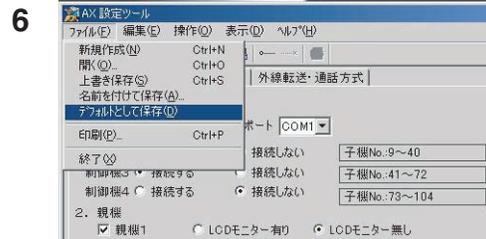
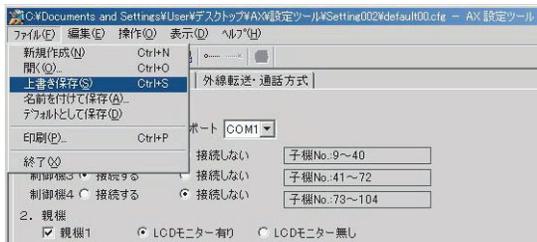
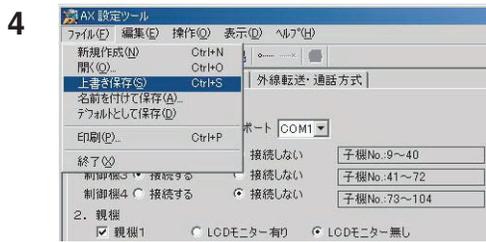
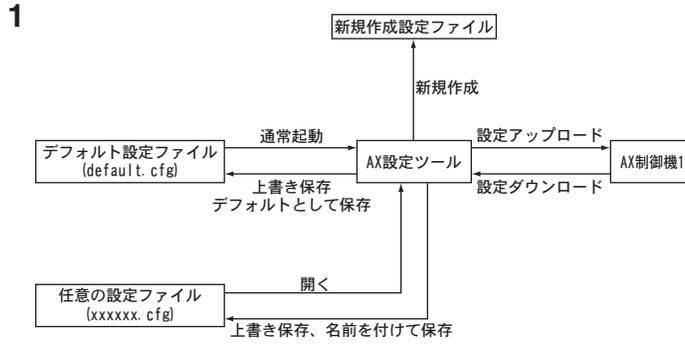
## 7-9



### 編集メニュー

編集メニューは、テキスト編集をサポートしています。

1. 元に戻す
2. 切り取り
3. コピー
4. 貼り付け



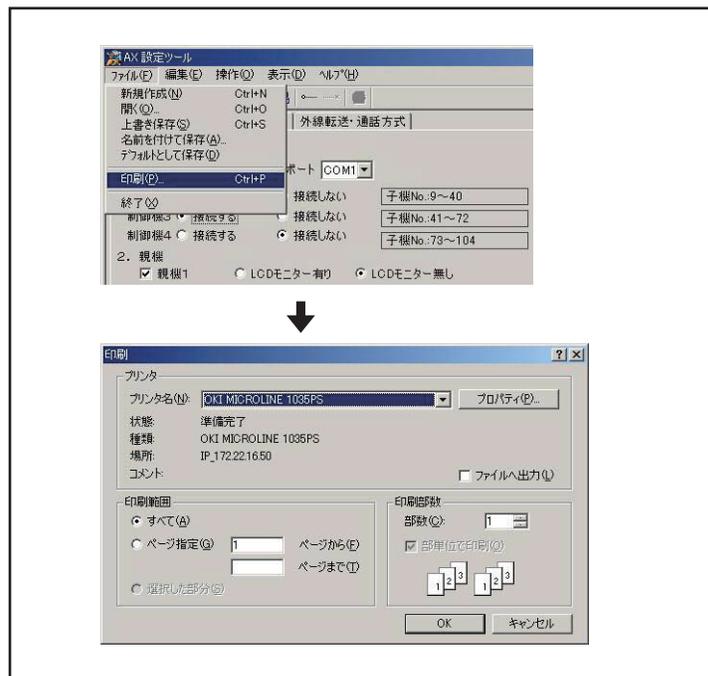
⚠2

## 7-10

### 設定のアップロードと保存

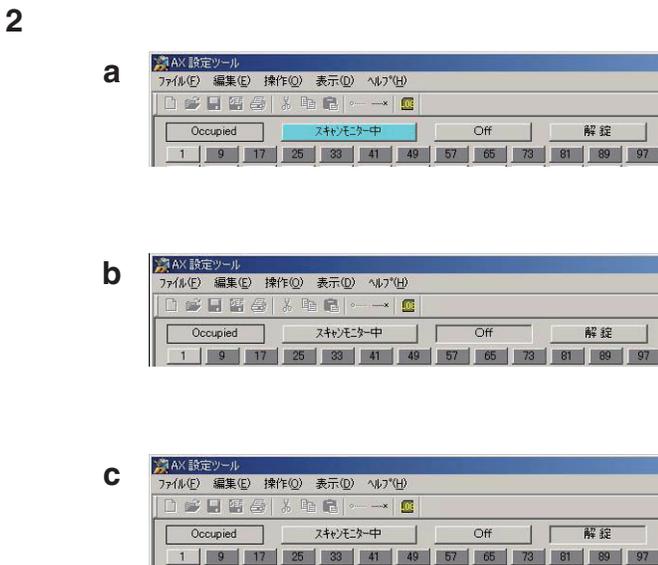
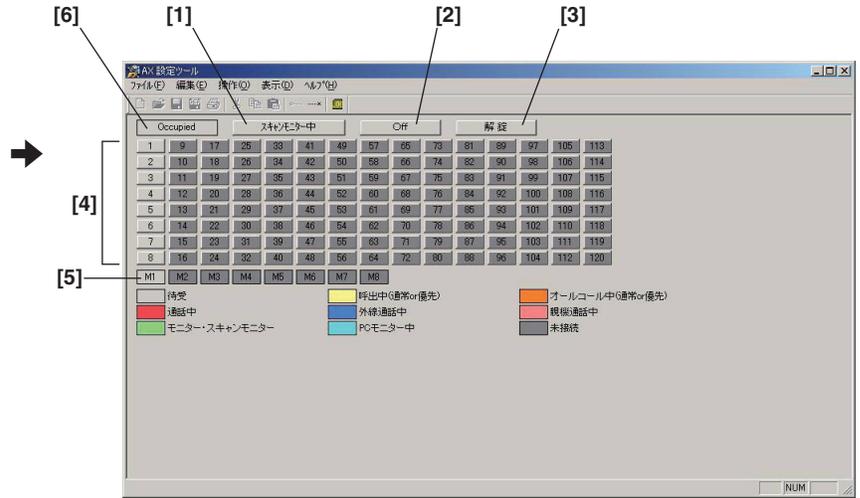
1. 設定データの流れ
  2. 設定ダウンロードメニュー  
操作メニューより「制御機 (C)」を選択し「設定ダウンロード (D)」を選択し、パスワードを入力すると、制御機内の設定データをPCにダウンロードできます。このとき、PC で編集中的設定データはすべて制御機よりダウンロードしたデータで上書きされます。
  3. 設定アップロードメニュー  
操作メニューより「制御機 (C)」を選択し「設定アップロード (U)」を選択し、パスワードを入力すると、編集中的設定データを制御機にアップロードできます。このとき、制御機で使用されていた設定データはすべてPC よりアップロードしたデータで上書きされます。
  4. 上書き保存メニュー  
ファイルメニューより「上書き保存 (S)」を選択すると、編集中的設定データを現在適用されている設定ファイルに保存します。ウィンドウのタイトルにファイル名が表示されていない場合は、デフォルト設定ファイルが適用されます。開くメニューで任意のファイルを開いている場合は、ウィンドウのタイトルに表示されているファイル名が適用されます。
  5. 名前を付けて保存メニュー  
ファイルメニューより「名前を付けて保存 (A)」を選択すると、編集中的設定データを現在適用されている設定ファイル以外のファイルに設定データを保存します。メニュー選択後、ファイル選択ダイアログが表示されます。ファイルリストよりファイルを選択した場合は選択したファイルに設定データが上書きされ、ファイル名に新規のファイル名を入力した場合は新規の設定ファイルが出力されます。設定ファイル名を入力または選択して「保存 (S)」ボタンを押すと設定ファイルの保存処理を実行します。
  6. デフォルトとして保存メニュー  
ファイルメニューより「デフォルトとして保存 (D)」を選択すると、編集中的設定データをデフォルト設定ファイルに保存します。
- △1. 作成した設定データをPCに保存しておくことをおすすめします。
- △2. デフォルトのパスワードは「9999」です。任意のパスワードに変更する場合は、パスワード変更メニューで変更してください。
- ファイルメニューより「パスワード変更」メニューを選択します。
  - パスワード変更用ダイアログが表示されます。
  - 新しいパスワードを入力してOKをクリックします。
- メモ: 1. パスワードは半角数字4文字のみです。  
2. 設定ツールを起動するには、デスクトップ画面上にある設定ツール「AXsetupJP.exe」を起動します。

## 7-11



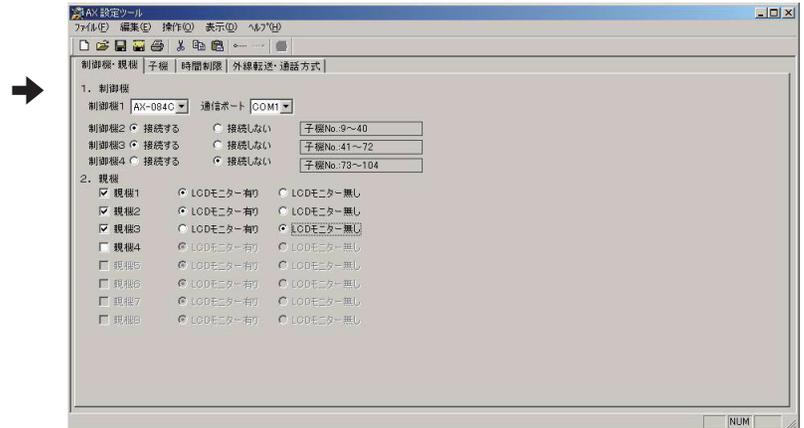
### 設定の印刷

ファイルメニューより「印刷 (P)」を選択すると、設定データを印刷できます。メニューを選択するとWindows の印刷ダイアログが表示されます。



d

	Occupied			スキャン中				Off			解放		
1	9	17	25	33	41	49	57	65	73	81	89	97	
2	10	18	26	34	42	50	58	66	74	82	90	98	
3	11	19	27	35	43	51	59	67	75	83	91	99	
4	12	20	28	36	44	52	60	68	76	84	92	100	
5	13	21	29	37	45	53	61	69	77	85	93	101	
6	14	22	30	38	46	54	62	70	78	86	94	102	
7	15	23	31	39	47	55	63	71	79	87	95	103	
8	16	24	32	40	48	56	64	72	80	88	96	104	
M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8						



## 7-12

### システムモニター

- システムモニター開始
  - 操作メニューより「システムモニター開始(M)」を選択すると、システムモニターを開始します。設定編集画面からシステムモニター画面に切り替わります。
- システムモニター画面の操作
 

システムモニター画面では「スキャンモニター」、「子機ボタン」、「Off」および「解錠」のコマンドボタンがマウスにより押せるようになっています。

  - スキャンモニターボタン
  - Offボタン
  - 解錠ボタン
  - 子機ボタン
  - 親機表示
  - 通話中表示
  - スキャンモニター、子機ボタンを押した場合、スキャンモニターまたはモニターを開始します。
  - Offボタンを押した場合、PCモニターまたはスキャンモニターを停止します。
  - 解錠ボタンを押した場合、モニター中の子機の電気錠を解錠します。

△通話中表示の点灯中はシステムが使用中であり、上記操作はできません。
- システムモニター終了
 

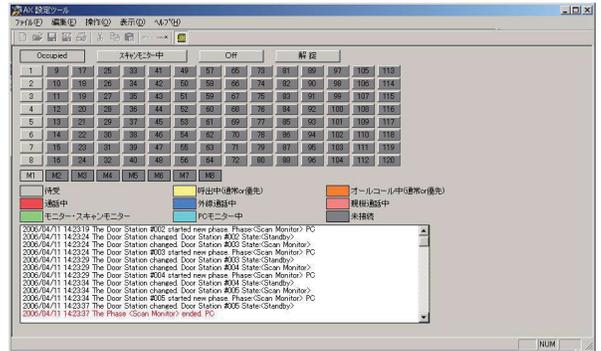
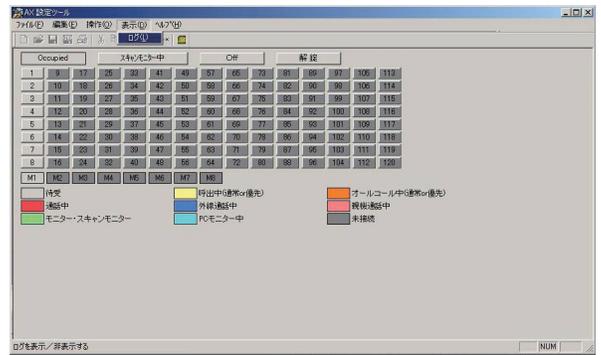
操作メニューより「システムモニター終了(S)」を選択すると、システムモニターを終了して設定編集画面に切り替わります。

△ただし、以下の場合はシステムモニターを開始できません。

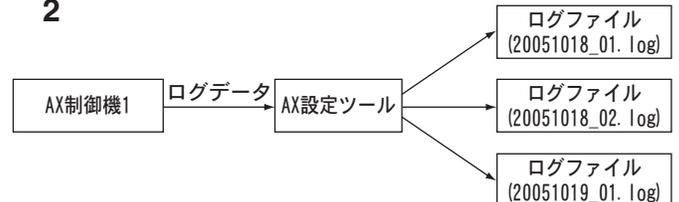
  - 変更された設定データが保存されていない。
  - 変更された設定データが一度も制御機にアップロードされていない。
  - PCと制御機間の通信回線が異常。

## 7-13

1



2



### ログ

- 表示メニュー
 

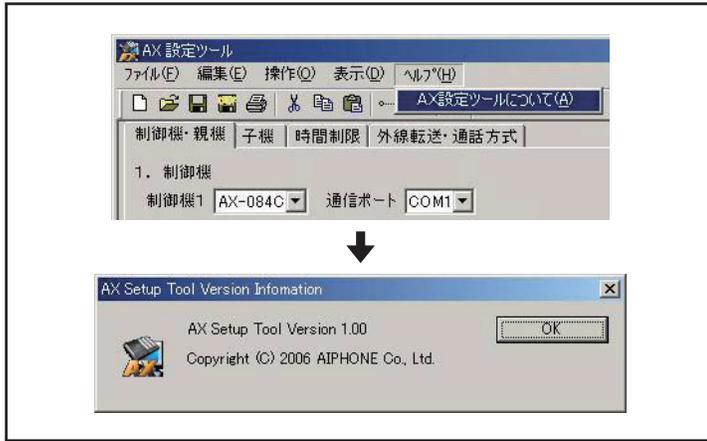
表示メニューはシステムモニター画面でのログ表示をサポートしています。表示メニューより「ログ(L)」を選択するとログ画面が表示されてメニュー項目のチェックが付きます。再度メニュー項目を選択すればログ画面は非表示となります。
- ログファイル
 

設定ツールは、制御機より受信したログデータをログファイルに出力します。このログファイルは設定ツールの起動ディレクトリ下に作成されファイル名は、日付+連番より「yyyymmdd\_nn.log」となります。ログはログファイルに追加出力されるが、日付をまたいだ場合およびログファイルが4Mbyteを超えた場合、新たにファイルを作成します。

△1. ログファイルは、自動的に削除されず残ります。ログデータの容量によりPCの動作に影響を及ぼす可能性があります。必要に応じてユーザーが消去または他の記録媒体へ保存をしてください。

△2. ログデータの日時はPC内蔵の時計によります。

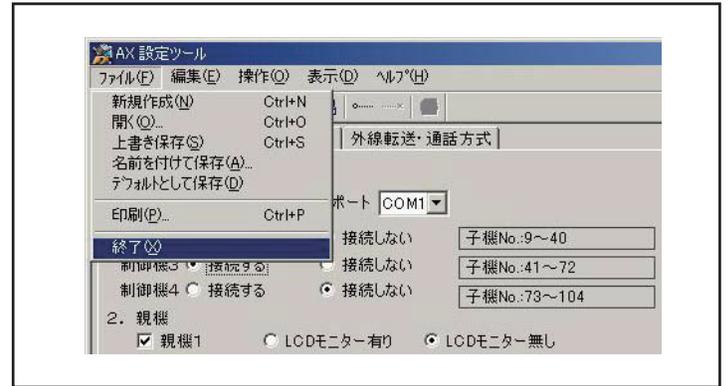
## 7-14



### ヘルプメニュー

バージョン情報ダイアログが表示されます。

## 7-15

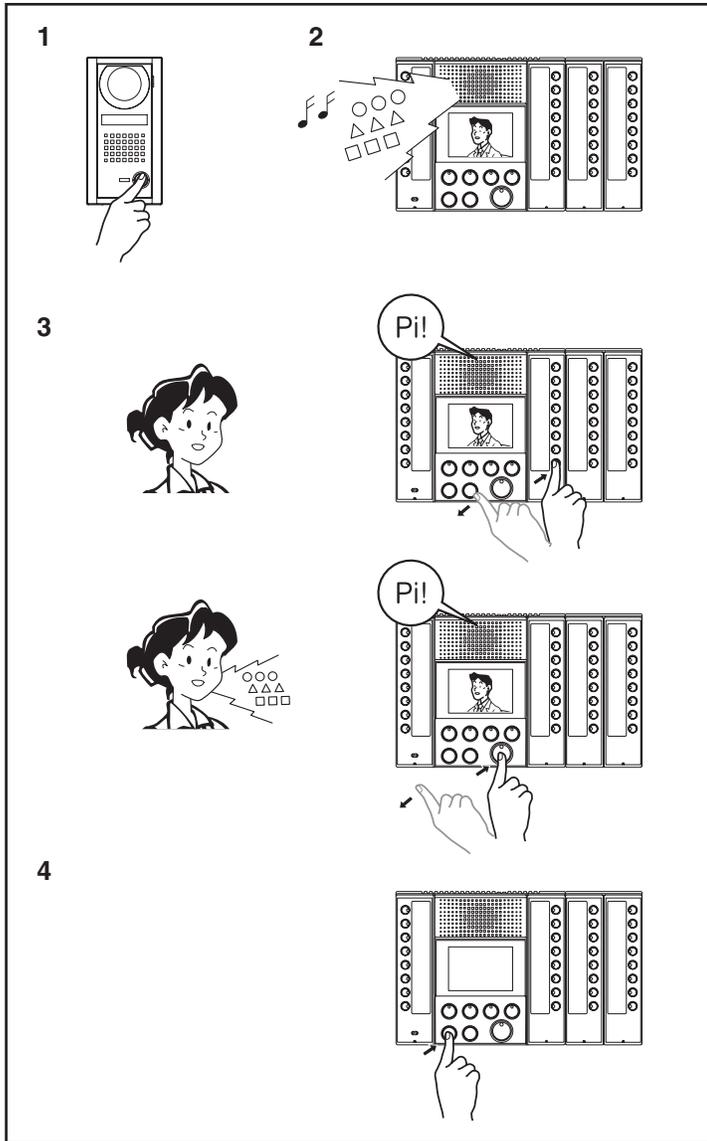


### 設定ツールの終了

ファイルメニューより「終了(X)」を選択すると設定ツールを終了します。

## 8 操作

### 8-1



### 子機からの親機呼出と通話

子機からの呼出には「通常」と「優先」の2つの呼出レベルがあります。

1. 子機の呼出ボタンを押します。
2. 親機で呼出音(呼出レベル通常の場合はトレモロ断続音、優先の場合はトレモロ高速断続音)が鳴り、個別子機選局ボタンのLEDが点滅(優先の場合は2回ずつ点滅)します。カメラ付子機の場合、モニター付親機では子機からの映像が映ります。呼出音は呼出中ずっと鳴り続けます。OFFボタンにより呼出音を停止できます。
3. 個別子機選局ボタンを押すと、LEDが点灯に変わりハンズフリー通話になります。通話ボタンを押した場合は、呼出プライオリティの一番高い子機とハンズフリー通話になります。話しかけると通話ボタンのLEDが点灯し、相手の声が聞こえている時は消灯します。
4. OFFボタンを押して通話を終了します。また、設定した通話終了時間が経つと自動的に終了します。

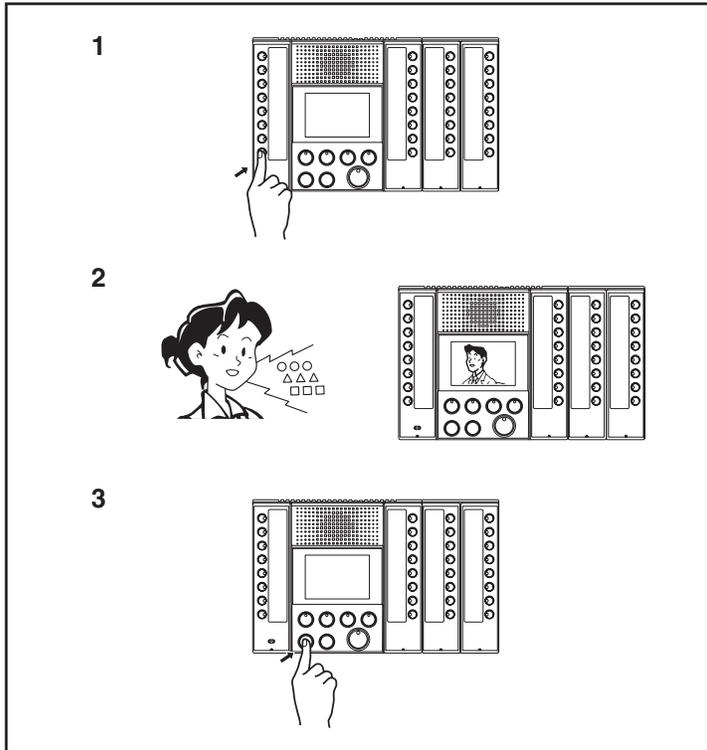
メモ: 1. 通話ボタンを1秒以上押し続けると、プレトーク通話に切り替わります。通話ボタンを押しながら話し、相手の声を聞く時は通話ボタンを離します。プレトーク通話からハンズフリー通話には戻れません。

⚠ プレトークは、ハンズフリーに比べて送話音量が大きくなります。また、送話音量調節スイッチでの音量変更はできません。

2. 他の親機が使用中の子機または親機の選局ボタンを押した場合は、話中音(ビビビ)が聞こえます。
3. 通話中親機のプライバシー設定ボタンを押している間は、マイクをミュートできます。
4. フットスイッチを接続する事により、通話ボタンと同様に使用できます。
5. 同時に最大8台までの呼出が親機に表示されます。それ以上の呼出は順次プライオリティに添って表示されます。
6. 呼出音、送話音量、受話音量を本体下部のボリュームでそれぞれ調節できます。
7. 本体のスピーカー・マイクのかわりに、ヘッドセット(システムには含まれていません)を使用できます。

	呼出音	選局ボタンLED表示
呼出(通常)	トレモロ断続音	遅点滅
呼出(優先)	トレモロ高速断続音	早点滅

## 8-2



### 親機からの親機呼出と通話

1. 親機の個別親機選局ボタンを押します。
2. 双方の親機でプリトーン(ピボン)が鳴り、双方がハンズフリー通話になります。話かけると通話ボタンのLEDが点灯し、相手の声が聞こえている時は消灯します。
3. OFFボタンを押して通話を終了します。どちらの親機でも終了できます。また、設定した通話終了時間が経つと自動的に終了します。

- △1. 被呼側の親機がプライバシーモード設定時(プライバシー設定ボタン点灯中)は、発呼側からの片側通話で、被呼側の音声は聞こえません。被呼側で通話ボタンを1秒以上押し続けるとプレストーク通話で通話できます。通話ボタンを押しながら話し、相手の声を聞く時は通話ボタンを離します。
- △2. プレストークは、ハンズフリーに比べて送話音量が大きくなります。また、送話音量調節スイッチでの音量変更はできません。

- メモ: 1. フットスイッチを接続する事により、通話ボタンと同様に使用できます。
2. 受話音量を本体下部のボリュームで調節できます。
3. 通話中の親機を呼び出すことはできません。話中音(ピビ)が聞こえます。

	呼出音	通話ボタン LED表示	
呼出・通話	ピボン	点灯	
オールコール	ポーン	点灯(被呼) 点滅(発呼)	
機器異常	-	点滅	機器、配線に異常があります。システム管理者に連絡してください。

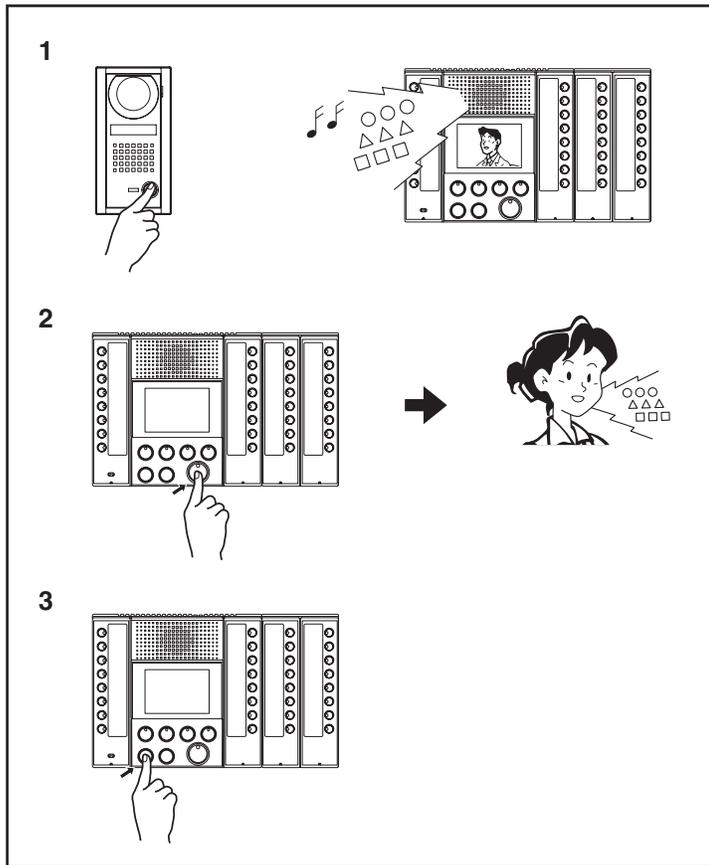
## 8-3

### プライバシー (PRIV) 機能

1. プライバシー設定をするときは、プライバシー設定ボタンを押します(点灯する)。
  2. プライバシー設定を解除するときは、点灯しているプライバシー設定ボタンを押します(消灯する)。
- \* プライバシー設定は、通話中は変更できません。

プライバシー設定	PRIV LED	親機と通話中	子機と通話中
設定中	点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクミュート</li> <li>・通話ボタンを1秒以上押し続けるとプレストーク通話に切り替わります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイク有効</li> <li>・PRIV ボタンを押している間マイクがミュートされます。</li> </ul>
否設定	消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイク有効</li> <li>・PRIV ボタンを押している間マイクがミュートされます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイク有効</li> <li>・PRIV ボタンを押している間マイクがミュートされます。</li> </ul>

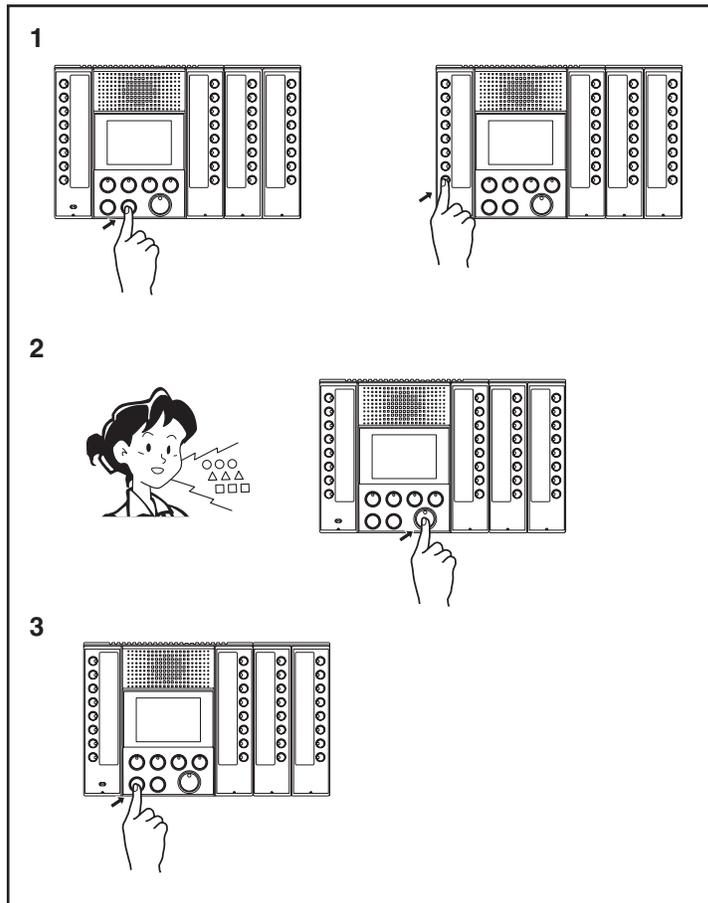
## 8-4



### 子機からの外線呼出と通話（北米のみ）

1. 子機呼出外線転送設定中（外線転送設定ボタン点灯中）に子機の呼出ボタンが押されると、親機で呼出音（呼出レベル通常の場合はトレモロ断続音、優先の場合はトレモロ高速断続音）が鳴り、個別子機選局ボタンのLEDが点滅（優先の場合は2回ずつ点滅）すると同時に、設定された外線番号に電話がかかります。
  2. 呼び出された電話で応答する事により子機と通話できます。
  3. 通話中の電話機で終話します。また、設定した通話終了時間が経つと自動的に終了します。通話終了時間の10秒前に外線側で警告音（ピピピ）が聞こえます。
- △1. 呼出タイマーを無限大に設定した場合でも、外線呼出は最大300秒です。
- △2. この機能を使用するためには、Viking社製外線アダプター K-1900-5が必要です。アダプターの設定は、アダプターの取扱説明書に従ってください。
- メモ: 1. 複数の呼出があった場合、呼出プライオリティの一番高い子機の呼出が転送されます。
2. 外線転送中に任意の親機で応答した場合、外線転送は中止します。
  3. 外線からの解錠やダイヤルイン等の機能はありません。

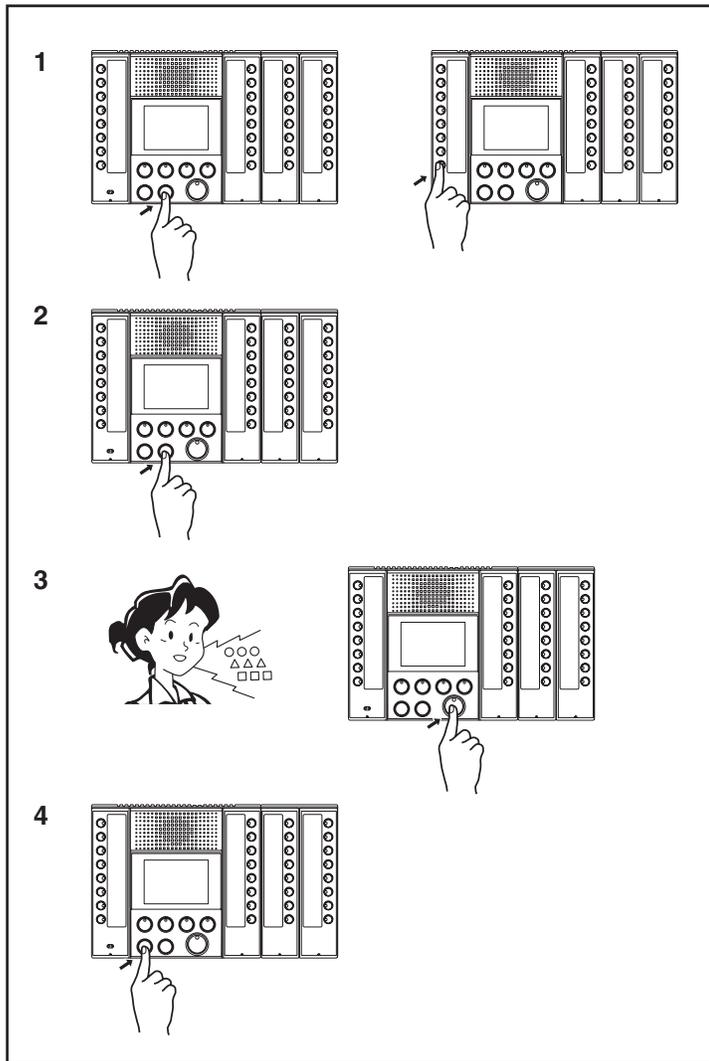
## 8-5



### オールコール（通常）（親機ページング）

1. 親機でオールコールボタンを押すと、すべての個別親機選局ボタンのLEDがゆっくり点滅します。LED点滅中に個別親機選局ボタンを押すと、消灯しオールコールの対象からはずすことができます。再度押すと点滅し再選局されます。
  2. 通話ボタンを押すと送話LEDが点灯し、すべての個別親機選局ボタンのLEDが点灯に変わります。全親機でプルトーン（ポーン）が鳴り、話しかける事ができます。このとき他の親機の音声は聞こえません。
  3. OFFボタンを押して終了します。また、他の親機でOFFボタンを押すことにより、個別に終了できます。
- メモ: 1. 使用中の親機には、オールコールはかかりません。
2. オールコール中に、発呼親機で個別親機選局ボタンを押すか、他の親機で発呼親機の個別親機選局ボタンまたは通話ボタンを押すと、親機同士のハンズフリー通話になります。
  3. 被呼親機からのトークバック機能はありません。
  4. オールコールボタンを押し、30秒以内に通話に入らないと待受に戻ります。または、OFFボタンで待受に戻ります。

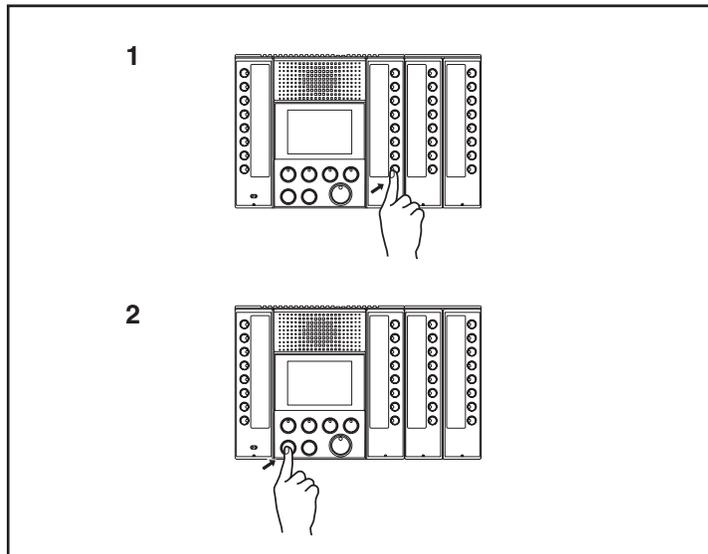
## 8-6



### オールコール（優先）（親機ページング）

- 親機でオールコールボタンを押すと、すべての個別親機選局ボタンのLEDがゆっくり点滅します。
  - もう一度オールコールボタンを押すと、早い点滅に変わります。LED点滅中に個別親機選局ボタンを押すと、消灯しオールコールの対象からはずすことができます。再度押すと点滅し再選局されます。
  - 通話ボタンを押すと送話LEDが点灯し、すべての個別親機選局ボタンのLEDが点灯に変わります。対象の親機でプリトーン（ポーン）が鳴り、話しかける事ができます。このとき他の親機の音声は聞こえません。
  - OFFボタンを押して終了します。また、他の親機でOFFボタンを押すことにより、個別に終了できます。
- メモ：1. 使用中の親機の通話はキャンセルされ、オールコールが優先されます。使用中の親機通話がキャンセルされる前にキャンセル予告音（ピピピ）が聞こえます。
- オールコール中に、発呼親機で個別親機選局ボタンを押すか、他の親機で発呼親機の個別親機選局ボタンまたは通話ボタンを押すと、親機同士のハンズフリー通話になります。
  - 被呼親機からのトークバック機能はありません。
  - オールコールボタンを押し、30秒以内に通話に入らないと待受に戻ります。または、OFFボタンで待受に戻ります。

## 8-7



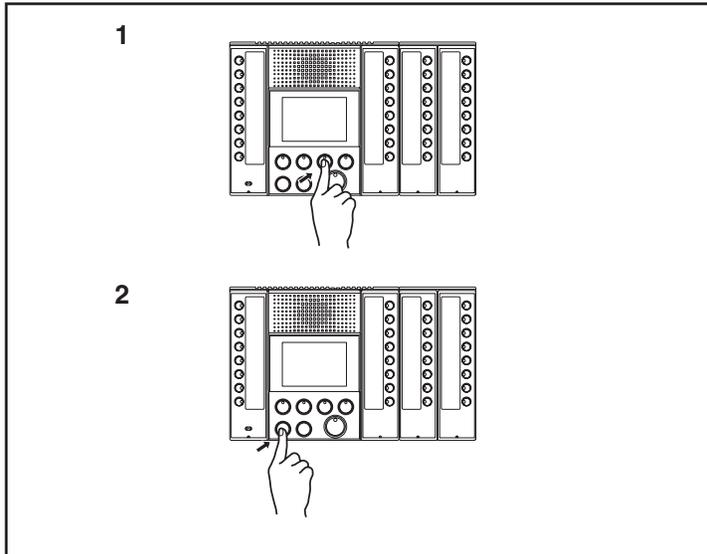
### モニター

- 個別子機選局ボタンを押すと、音声が聞こえ、カメラ付き子機の場合は映像が映ります。
- 終了するにはOFFボタンを押します。また、設定した通話終了時間が経つと自動的に終了します。

メモ：1. 他の親機で通話中またはモニター中の子機はモニターできません。  
2. モニター中に通話ボタンを押すと、その子機とハンズフリー通話となります。

子機の状態	モニター
待受	可能
外線通話中	不可（ピピピ）
親機通話中	不可（ピピピ）
モニター中	不可（ピピピ）
呼出中	通話となる

## 8-8

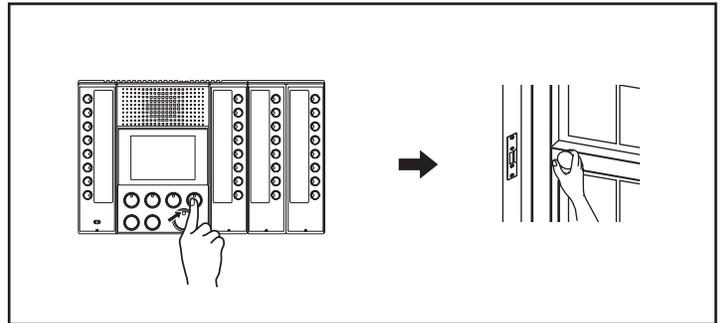


### スキャンモニター

- スキャンモニターボタンを押すと、設定された子機を設定時間ごとに順次モニターできます。
  - 通常は、対象子機の番号が一番小さい子機から順にモニターします。
  - 対象子機を個別モニター中にスキャンモニターボタンを押すと、その次の子機から順次モニターします。
  - 対象でない子機をモニター中にスキャンモニターボタンを押した場合は、通常の順にモニターします。
  - 終了するにはOFFボタンを押します。
- △1. カメラの切替時、映像が乱れる場合があります。
- △2. スキャンモニターは、いつも通話・映像路2を使用します。話中LEDが点灯していなくても通話・映像路2が使用中のときはスキャンモニターできません。
- メモ: 1. スキャンモニターは、同時には1台の親機でのみ可能です。
- スキャンモニター中に通話ボタンを押すと、その子機とハンズフリー通話となります。
  - スキャンモニター中に、個別子機選局ボタンまたはスキャンモニターボタンを押すと、個別モニターに切り替わります。
  - スキャンモニター中に呼出があると、スキャンモニターは終了します。
  - スキャンモニターはキャンセルするまで無限ですが、親機LCDは10分後に消灯します（ただし外部映像出力は消灯中も有り）。LCD消灯中にスキャンモニターボタンを押すとLCDは再点灯します。
  - スキャンモニター中の映像は、いつも、外部映像出力2（V2）から出力されます。
  - スキャンモニター中に、TALKボタンを押すことによりモニター中の子機との通話となります。

子機の状態	スキャンモニター
待受	可能
外線通話中	可能：通話そのまま、音声はモニターできません
親機通話中	可能：通話そのまま、音声はモニターできません
モニター中	可能：通話そのまま、音声はモニターできません
呼出中	不可：スキップして次の子機をスキャン

## 8-9



### 電気錠の解錠

- 子機通話中またはモニター中に解錠ボタンを押します。
  - 電気錠が解錠されます。
- メモ: 1. 外線電話からの解錠はできません。  
2. 解錠リレー作動中は、LEDが点灯します。

## 8-10

### プライオリティ

- 「先呼」は「後呼」より優先です。
- 「通話」は「呼出」より、「呼出」は「モニター、スキャンモニター」より優先です。
- 「呼出」「オールコール」は、呼出レベル「優先」が「通常」よりも優先です。

通話プライオリティ	
1 (高)	子機－外線通話
2	オールコール (優先)
3	子機－親機通話
4	親機－親機通話
5	オールコール (通常)
6	モニター
7 (低)	スキャンモニター

## 8-11

### 自局親機モード別機能ボタン操作一覧表

- 各操作、動作は通話路が空いているときの動作とする。
- 子機呼出時の映像路のみ使用しているときでも、音声路も埋まっているとみなす。(音声と映像は一对)

現状態 (自親機)	新規イベント (当該親機でのボタン操作)						
	操作ボタン						
	Privacy	CO Transfer	Scan Monitor	Lock	TALK	ALL CALL	OFF
親機オールコール (優先) 発呼中	マイクミュート (押下中)	外線設定ON/OFF	オールコール終了 スキャンモニター	無効	1秒押しでPTT通話	無効	終話・待受
親機オールコール (優先) 被呼中	無効	外線設定ON/OFF	終話 スキャンモニター	無効	オールコール終了 親親通話	無効	終話・待受
親機オールコール (優先) 選局中	Priv設定ON/OFF	外線設定ON/OFF	スキャンモニター	無効	オールコール開始	優先→通常オールコール選局	選局終了・待受
子機-親機通話中	マイクミュート (押下中)	外線設定ON/OFF	終話 スキャンモニター	解錠	1秒押しでPTT通話	終話 オールコール通常選局	終話・待受
子機呼出 (優先) 被呼中	Priv設定ON/OFF	外線設定ON/OFF	スキャンモニター	無効	通話	オールコール通常選局	呼出音一時停止
子機呼出 (通常) 被呼中	Priv設定ON/OFF	外線設定ON/OFF	スキャンモニター	無効	通話	オールコール通常選局	呼出音一時停止
親機-親機通話中	マイクミュート (押下中)	外線設定ON/OFF	終話 スキャンモニター	無効	1秒押しでPTT通話	終話 オールコール通常選局	終話・待受
親機オールコール (通常) 発呼中	マイクミュート (押下中)	外線設定ON/OFF	オールコール終了 スキャンモニター	無効	1秒押しでPTT通話	無効	終話・待受
親機オールコール (通常) 被呼中	無効	外線設定ON/OFF	終話 スキャンモニター	無効	オールコール終了 親親通話	無効	終話・待受
親機オールコール (通常) 選局中	Priv設定ON/OFF	外線設定ON/OFF	スキャンモニター	無効	オールコール開始	通常→優先オールコール選局	終了・待受
モニター中	Priv設定ON/OFF	外線設定ON/OFF	スキャンモニター	解錠	通話	モニター終了 オールコール通常選局	終話・待受
スキャンモニター中	Priv設定ON/OFF	外線設定ON/OFF	モニター	無効	通話	スキャンモニター終了 オールコール通常選局	終話・待受
待受	Priv設定ON/OFF	外線設定ON/OFF	スキャンモニター	無効	無効	オールコール通常選局	無効

## 8-12

### 新規被呼イベント

現状態 (自親機)	新規イベント (当該親機での被呼時動作)			
	被呼			
	オールコール (優先)	オールコール (通常)	子機呼出 (優先)	子機呼出 (通常)
親機オールコール (優先) 発呼中			(現状態継続) (子被呼受付)	(現状態継続) (子被呼受付)
親機オールコール (優先) 被呼中			(現状態継続) (子被呼受付)	(現状態継続) (子被呼受付)
親機オールコール (優先) 選局中	選局終了 オールコール被呼	選局終了 オールコール被呼	選局終了 子機被呼 (優先)	選局終了 子機被呼 (通常)
子機-親機通話中	終話 オールコール被呼	不可	(現状態継続) (子被呼受付)	(現状態継続) (子被呼受付)
子機呼出 (優先) 被呼中	オールコール被呼 (子被呼保持)	オールコール被呼 (子被呼保持)	(現状態継続) (子被呼受付)	(現状態継続) (子被呼受付)
子機呼出 (通常) 被呼中	オールコール被呼 (子被呼保持)	オールコール被呼 (子被呼保持)	子機被呼 (優先) (子被呼保持)	(現状態継続) (子被呼受付)
親機-親機通話中	終話 オールコール被呼	不可	(現状態継続) (子被呼受付)	(現状態継続) (子被呼受付)
親機オールコール (通常) 発呼中	オールコール終了 オールコール被呼		(現状態継続) (子被呼受付)	(現状態継続) (子被呼受付)
親機オールコール (通常) 被呼中	オールコール終了 オールコール被呼		(現状態継続) (子被呼受付)	(現状態継続) (子被呼受付)
親機オールコール (通常) 選局中	選局終了 オールコール被呼	選局終了 オールコール被呼	選局終了 子機被呼 (優先)	選局終了 子機被呼 (通常)
モニター中	モニター終了 オールコール被呼	モニター終了 オールコール被呼	モニター終了 子機被呼 (優先)	モニター終了 子機被呼 (通常)
スキャンモニター中	スキャンモニター終了 オールコール被呼	スキャンモニター終了 オールコール被呼	スキャンモニター終了 子機被呼 (優先)	スキャンモニター終了 子機被呼 (通常)
待受	オールコール被呼	オールコール被呼	子機被呼 (優先)	子機被呼 (通常)

## 9 技術的注意

### 技術的注意

- 動作温度： 子機： -10 ~ 60 °C (14 ~ 140 °F)  
親機： 0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F)  
制御機： 0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F)
- お手入れ： 家庭用中性洗剤をしみこませた柔らかい布を使用して、機器を拭いてください。研磨剤入り洗剤や粗い布は使用しないでください。
- カメラ切替時： 個別のカメラの同期信号が非同期信号であるため、映像の同期が乱れる場合があります。また、再同期までの時間はご使用の表示デバイスにより異なります。

## 10 仕様

### 仕様

- 電源： DC 24 V, 2 A
- 消費電流：  
AX-084C: Video (最大) 650 mA, Audio (最大) 700 mA  
AX-248C: Video (最大) 1150 mA, Audio (最大) 1250 mA  
AX-320C: Video (最大) 280 mA, Audio (最大) 180 mA
- 通話： <自動>ハンズフリー  
<手動>押して送話、離して受話
- カメラ： CCD 25 万画素
- モニター： 3.5インチ直接表示TFTカラー液晶
- 走査線： 525 本
- 解錠接点： 24 V AC/DC, 0.5 A
- 寸法：  
AX-DM: 43 (幅) × 160 (高さ) × 22.5 (奥行) mm  
AX-DV: 100 (幅) × 195 (高さ) × 25 (奥行) mm  
AX-DVF: 146 (幅) × 246 (高さ) × 47 (奥行) mm  
AX-DV-P: 100 (幅) × 245 (高さ) × 25 (奥行) mm  
AX-DVF-P: 146 (幅) × 295 (高さ) × 47 (奥行) mm  
AX-8M: 194 (幅) × 175 (高さ) × 48 (奥行) mm  
AX-8MV: 194 (幅) × 175 (高さ) × 48 (奥行) mm  
AX-16SW: 86 (幅) × 175 (高さ) × 48 (奥行) mm  
AX-084C: 480 (幅) × 88 (高さ) × 335 (奥行) mm  
AX-248C: 480 (幅) × 88 (高さ) × 335 (奥行) mm  
AX-320C: 480 (幅) × 88 (高さ) × 335 (奥行) mm
- 重量：  
AX-DM: 約100g  
AX-DV: 約400g  
AX-DVF: 約660g  
AX-DV-P: 約450g  
AX-DVF-P: 約760g  
AX-8M: 約450g  
AX-8MV: 約550g  
AX-16SW: 約200g  
AX-084C: 約4,700g  
AX-248C: 約4,700g  
AX-320C: 約4,700g
- 制御機 (AX-084C, 248C) :  
外部映像出力：  
NTSC準拠 1 Vpp (0.7 ~ 1.4 Vpp) BNC (2)  
外部映像出力機器：  
オープンコレクタ出力 DC 24 V, 30 mA RJ45 (2)
- 親機 (AX-8MV) :  
外部映像出力：  
NTSC準拠 1 Vpp (0.7 ~ 1.4 Vpp)

## 保証

アイホンは、製品が最終ユーザーに納品されてから2年間、通常の使用において、製品の材料と製造工程に瑕疵がないことを保証します。また、万一、製品に瑕疵が発生し、瑕疵の存在と保証対象であることが検証された場合は、無償で修理または交換します。アイホンは、材料と製造工程の両方またはいずれかに瑕疵があるかどうか、また製品が保証の範囲内にあるかどうかを最終的に判断する独占権を保留します。本保証は、何らかの誤使用、過失、事故、または提供された説明書に違反する使用にさらされたアイホン製品および工場外で修理または改造された機器には適用されないものとします。本保証には、バッテリーおよび機器に関して使用されたバッテリーによる損傷は含まれません。本保証には、持込修理のみが含まれ、すべての修理はアイホンが書面で指定した修理工場または場所で行われる必要があります。アイホンは、現場整備依頼に関して発生するいかなる費用も負担しません。使用中、故障や誤動作またはこれらの不都合による利用の機会を逸した場合の損害補償については申し受けかねます。

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures: • Reorient or relocate the receiving antenna • Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected. Increase the separation between the equipment and receiver. • Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

 **AIPHONE**®  
*Providing Peace of Mind*  
<http://www.aiphone.com/>

AIPHONE CO., LTD., NAGOYA, JAPAN  
AIPHONE CORPORATION, BELLEVUE, WA, USA  
AIPHONE S.A.S., LISSES-EVRY, FRANCE